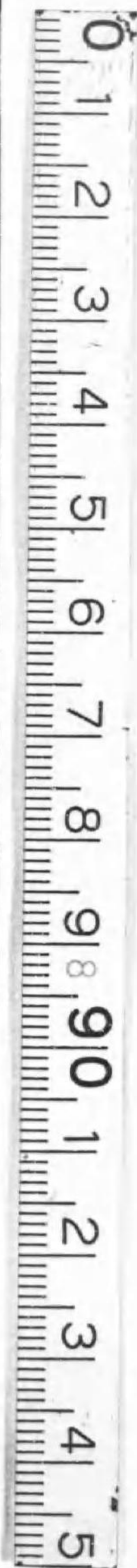


鐵道員になるには

書叢導指  
編十二第

特217

24



始





特217  
24

職業指導研究會編

職業指導叢書(第二十編)

鐵道員になるには



東京三友社發行

## 序

大海に船出するには羅針盤が必要である。これと同様に、數ある職業の中から吾々の一生を托する職業を選ぶには又職業選擇の羅針盤が必要である。職業指導書は、これから、人生々活の第一歩を踏み出さうとする人達の爲に、陸軍々人、海軍々人、小學校教員、醫師、看護婦、産婆、美容師等々と、出来る限りの職業を網羅して、此等各職業の性質を説明し、かくくゝの職業に就くには、かくくゝの道順を通らねばならぬ、かくかくの業務を習得するには、かくくゝの手續きを踏まねばならぬと云ふことを叙述したものである。

人には各天分があつて何人も自己の天分に適應した職業を選ばなければ



ばならぬ。自己の天分に適應した職業を選ぶと云ふことは、單に自己の幸福の爲だけでなく、國家社會に對しても當然なさねばならぬことである。なんとすれば、國家社會は各人が各其の天分に應じて出来るだけ奉仕するところに其の發展が期せられるからである。

本叢書はそれ／＼其の道の専門家に依頼して、執筆してもらつたものであるが、紙數に制限あり、一方公刊をいそいだ爲に、或は多少の缺陷があるかもしれない。然しこれは他日の補正を期することにして、兎にも角にも本書の上様が職業選擇の上に何等かの参考になるならば幸である。

編者識す

昭和八年十月

## 第一章 鐵道員

第一節 鐵道の發達……………	一
第二節 全國鐵道局並に鐵道員範圍(地位的待遇)……………	一
第三節 現今鐵道省に於ける一般的採用情況……………	九
第四節 鐵道從業員の服務……………	一五
第五節 鐵道局教習所規程……………	一六
第六節 普通部(教習所)……………	一九
第七節 專修部(同)……………	二五
第八節 專門部(同)……………	三三
第九節 鐵道省給費生募集……………	四〇
第十節 現鐵道從業員の待遇……………	六一



第二章 鐵道學校……………六

A、東亞鐵道學校學則適用……………六

B、東京鐵道學校要覽……………八三

C、鹿兒島鐵道學校の就職情況……………九六

第三章 普通部試驗問題……………九九

第一節 各科最近試驗問題……………九九

第二節 電信科試驗問題……………一〇九

第三節 機關手見習試驗問題……………一一二

鐵道員になるには

第一章 鐵道員

第一節 鐵道の發達

平和な片田舎の田園を、山間僻地を、谿谷を、汽車の汽笛が緩やかに流れて行く—  
恰も人間の生息する地上の一切を征服するかの様に。偉大な文明の進歩は、人間の  
生活の要求に應じて簡單より復雜へ進んで行く。文明の歩調はよりこまやかになり、  
より早くなり、その發展に果しがたい。現代文明の一部門を構成する處の、交通機關  
分けても鐵道事業の發達は如何に目ざましいものであるか？ 都會より田舎へ、田舎  
より都會へ普ねく吾人の周圍をとりまいてゐるのである。



然らば斯様な發達を遂げて居る我が國の鐵道事業は、一體何時頃に端を發したかと云ふと、明治五年九月十三日東京横濱間の鐵道が竣工し、これに汽車を運轉した時に初まつてゐる。當時明治大帝は畏くも新橋及横濱へ臨御仰せ出され横濱と新橋の兩式場に於て優渥なる勅語を賜はつた。これを見ても如何に鐵道事業に對して大帝が御關心をお持遊ばされたかゞわかる。鐵道事業は國家的重要性を帯びてゐる。我が國の鐵道は明治三十九年三月國有鐵道法案が議會に提出されて以來殆ど鐵道省の管下にある勿論中には株式會社組織の私設鐵道もあるがいづれも鐵道省の監督下にある。

一と口に云ふとこの鐵道事業に關與する總ての者を一括して鐵道員と名付けることが出来る。而してその鐵道員なるものは頗る多く、即ち昨年（昭和七年度）のその筋に於ける統計書によると、驚くなかれ實に二十有餘萬人の鐵道員が、その偉大なる事業に參與して居る。斯様に數の上から見ても如何に鐵道事業が樞要なものであるかゞ窺はれる。

次に全國に於ける鐵道局、鐵道官吏たる判任官以上の各位の名稱並に待遇、および

本書の本論たる雇傭員についてのそれを述べてみやう。

## 第二節 全國の鐵道局並に鐵道員の範圍

### （地位的待遇）

鐵道局は全國に次の六局ある。

- 東京鐵道局 〓 東京市麴町區丸の内一丁目
- 名古屋鐵道局 〓 名古屋市西區西柳町
- 大阪鐵道局 〓 大阪市北區大深町
- 門司鐵道局 〓 門司市大字門司
- 仙臺鐵道局 〓 仙臺市清水小路
- 札幌鐵道局 〓 札幌市北五條西四丁目

朝鮮・臺灣・樺太の諸植民地に於ては各當該官廳によつて統禦され、南滿洲鐵道は株式會社組織により統制され、我が盟邦滿洲新國家の擴範な鐵道事業は殆ど同國の手に



鐵道員になるには

依りどん／＼その事業が進んで居る。その結果、將來これに要する鐵道員は急激なる増加を見、吾等に就職の新天地を開いてくれるであらう。

次に鐵道官吏の名稱と待遇を示して大體の鐵道員の範圍を示して見よう。

一、勅任官及び奏任官の待遇

鐵	大	勅任							
		親任一	等二	等三	等四	等五	等六	等七	等八
大	八,000	俸年	俸年	俸年	俸年	俸年	俸年	俸年	俸年
政務次官	六,500								
次官									
參與官									
監督局長	五,100								
運輸局長									
建設局長									

四

道

鐵道醫	技師	事務官	書記官	秘書官	鐵道監察官	經理局長	電氣局長	工作局長	工務局長
					一級五,200 二級四,800			五,200	
	一級六,000 二級五,500 三級五,000 四級四,800	一級四,800 二級四,000 三級三,800 四級三,600	一級四,500 二級四,000 三級三,800 四級三,600	一級四,500 二級四,000 三級三,800 四級三,600	一級四,500 二級四,000 三級三,800 四級三,600				
四,500以上	十一級一,600 十二級一,400	十一級一,400 十二級一,200	十一級一,400 十二級一,200	十一級一,400 十二級一,200	十一級一,400 十二級一,200				
三,800以上	十一級一,400 十二級一,200	十一級一,200 十二級一,000	十一級一,200 十二級一,000	十一級一,200 十二級一,000	十一級一,200 十二級一,000				
三,100以上	十一級一,200 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000				
二,400以上	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000				
一,600以上	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000	十一級一,000 十二級一,000				

(奏任官待遇官等配當)



省 道 鐵								
局 道 鐵			局 光 觀 際 國		省 道 鐵			
鐵 道 手	技 手	書 記	技 手	鐵 道 手	鐵 道 手	技 手	月 俸	判 任
(判任待遇)	(同前)		持俸至三〇〇 一級一六〇 二級一五〇	(判任待遇) 一五以上	特俸至三〇〇 二級一六〇 一級一五〇		一 等	判
			三級二五〇 四級一〇〇 五級以上	官 待 遇 等 一五以上 一五未滿	三級二五〇 四級一〇〇 五級以上		二 等	判
			六級七五〇 七級五〇〇 八級以上	配 當 一五以上 一五未滿	六級七五〇 七級五〇〇 八級以上		三 等	判
			九級五〇〇 十級五〇〇 十一級四〇〇	一五未滿	九級五〇〇 十級五〇〇 十一級四〇〇		四 等	任

二、判任官の待遇

省						
局 道 鐵				局 光 觀 際 國		
技 師	副 參 事	參 事	局 長	事 務 官	書 記 官	局 長
			一級五,一〇〇 二級四,六〇〇			五,二〇〇
十七級一,〇〇〇 十八級一,二〇〇 十九級一,四〇〇 二十級一,六〇〇 二十一級一,八〇〇 二十二級二,〇〇〇 二十三級二,二〇〇 二十四級二,四〇〇 二十五級二,六〇〇 二十六級二,八〇〇 二十七級三,〇〇〇 二十八級三,二〇〇 二十九級三,四〇〇 三十級三,六〇〇	十七級一,〇〇〇 十八級一,二〇〇 十九級一,四〇〇 二十級一,六〇〇 二十一級一,八〇〇 二十二級二,〇〇〇 二十三級二,二〇〇 二十四級二,四〇〇 二十五級二,六〇〇 二十六級二,八〇〇 二十七級三,〇〇〇 二十八級三,二〇〇 二十九級三,四〇〇 三十級三,六〇〇	十七級一,〇〇〇 十八級一,二〇〇 十九級一,四〇〇 二十級一,六〇〇 二十一級一,八〇〇 二十二級二,〇〇〇 二十三級二,二〇〇 二十四級二,四〇〇 二十五級二,六〇〇 二十六級二,八〇〇 二十七級三,〇〇〇 二十八級三,二〇〇 二十九級三,四〇〇 三十級三,六〇〇	十七級一,〇〇〇 十八級一,二〇〇 十九級一,四〇〇 二十級一,六〇〇 二十一級一,八〇〇 二十二級二,〇〇〇 二十三級二,二〇〇 二十四級二,四〇〇 二十五級二,六〇〇 二十六級二,八〇〇 二十七級三,〇〇〇 二十八級三,二〇〇 二十九級三,四〇〇 三十級三,六〇〇	十七級一,〇〇〇 十八級一,二〇〇 十九級一,四〇〇 二十級一,六〇〇 二十一級一,八〇〇 二十二級二,〇〇〇 二十三級二,二〇〇 二十四級二,四〇〇 二十五級二,六〇〇 二十六級二,八〇〇 二十七級三,〇〇〇 二十八級三,二〇〇 二十九級三,四〇〇 三十級三,六〇〇	十七級一,〇〇〇 十八級一,二〇〇 十九級一,四〇〇 二十級一,六〇〇 二十一級一,八〇〇 二十二級二,〇〇〇 二十三級二,二〇〇 二十四級二,四〇〇 二十五級二,六〇〇 二十六級二,八〇〇 二十七級三,〇〇〇 二十八級三,二〇〇 二十九級三,四〇〇 三十級三,六〇〇	十七級一,〇〇〇 十八級一,二〇〇 十九級一,四〇〇 二十級一,六〇〇 二十一級一,八〇〇 二十二級二,〇〇〇 二十三級二,二〇〇 二十四級二,四〇〇 二十五級二,六〇〇 二十六級二,八〇〇 二十七級三,〇〇〇 二十八級三,二〇〇 二十九級三,四〇〇 三十級三,六〇〇

鐵道員になるには



### 三、雇傭員

大體以上で鐵道官吏の範圍は殆ど述べ盡されてゐるが、もう一つその下の階級に雇傭員がある。これは吾々獨學者の必ず通過しなければならぬ最初の段階であり、獨學者の鐵道官吏になる第一歩である。本書は以下此の雇傭員の諸地位に採用される場合の資格、手續き、……待遇等に至るまでの形式を具體的に説明して行くのである。先づその採用される各科名（種類と云つても良い）をあげやう。勿論これが皆鐵道員なることは敢て言を待たない。

- 一、普通部
- 二、電信科
- 三、機關手見習
- 四、車掌見習
- 五、雇傭員
- 六、閉塞機手

- 七、機關手助手
- 八、機關手
- 九、判任機關手
- 十、車掌電機手
- 十一、車掌驛員車掌
- 十二、檢車手

鐵道省管下に於ける雇傭員の各分科は大體以上の種別に分たれ、一般の鐵道員志願者は、殆ど全部右に列擧した何れからか進まなければならぬ事になつてゐる。

### 第三節 現今鐵道省に於ける一般的採用情況

兎に角官廳と云ふものは、就職が困難なものであるが、分けても鐵道省下の官廳は殊更にそれが困難である。

毎年三、四月の頃には、若干の職員を募集してゐるが、これは應募資格が專門學校



卒業程度以上である。吾々の志願する雇傭員の募集にしても中等學校卒業程度、時としては専門學校卒業業者も應募者に往々混つてゐる。僅か數十人の募集人員に對して應募者の數は甚だ多く、中には、本年（昭和八年度）の募集の際など見ても（但し傭人としての採用）僅か三百名足らずの採用に對して何千人と云ふ、すごい應募者であつた。別に鐵道省が他の官廳に比べて月給が特に多いとか、待遇が非常に宜敷いとかと云ふこともないのに此の始末である。

何んと云つても官廳は帝大出でなければならぬと云つた、長年の習慣見たいなものがあるので、私立大學を出た者は仲々幅が利かない。

そんな様な状態であるから、學歷があるにしろ、ないにしろ兎に角鐵道省或ひは鐵道局に入る等と云ふことは先づ至難なこと、云はなければならぬ。

と云ふことになると、それ程澤山ある人數であるから、定めしいろ／＼な事情で退職する者が随分多いだらう。その缺員はどうなる、と云ふ問題になるが、しかしこれは至極簡単に片づいてゐる。成程缺員は常にあると云つても好い程實は澤山あるので

あるが、これはその都度常に新らしい人員に依つて補充されてゐるのである。即ち、年々採用試験を行つてそれに合格したものが未だ、缺員なきために不採用のまゝとなつてゐるものが、漸次順番に應じて補充登用されるものである。但實際の場合は高位高官の手びきの者は優先して採用されることが多い。

一體、鐵道省へ入り度い人は、前にも述べた様に實に澤山ある。その澤山の人々が常に人を介して就職の運動をしてゐるのである。或る者は現在勤めてゐる好い地位の人に、或る者は局長級の人に又或る者は、大臣や次官等の紹介によつて——この運動が實に激しいのである。これ等の就職志望者は常に溢れてゐると云つた有様であり、随つて何等の紹介もなしに單身乗込んで鐵道員にならうとすることは缺員のある際でも不可能と云つてよい位である。

そこで鐵道員にならうとする人はたとへ傭人に至るまで先づ第一に此の方面の紹介者を得ることが肝心である。

でその紹介者は、大臣や次官、局長、課長ならこれに越したことはないが、それは



誰しも望み得る處のものでないから、同郷の先輩を見付けることである。尤もこの先輩でも地方に依つていろいろ世話を焼いてくれる人と、あんまり關係することを好まない人とあるからその邊は然るべく自分で選ばなければならぬ。

分けても紹介者がたとへ身分は低い地位にあつてもよく自分のことの様に身を入れて世話して呉れると云ふ人があるなら、かうした人を選ぶべきである。

それに愈々手蔓によつて入ることが出来ると、中學卒業程度の人なら雇員の資格で日給一圓二三十錢を貰へる。猶ほ最近では採用直後半年間位は臨時雇の名義で成績の良い人は漸次早く雇に任命されて行くやうである。

又高等小學卒業程度の人ならこれは雇員としては（但し業務科の場合）到底雇つて貰へない。給仕としてしか出来ないものであつて日給七十錢位支給される。

猶最近専門學校、中學校を出てゐてさえも給仕として機械、土木、電氣等の各科に往々志望者がある。勿論この種の人は採用されて後昇格するのが早い。

で、高等小學卒業して業務科の給仕となると勤務時間が他の官廳同様午後四時まで

なので夜學に通へる便宜がある。給仕として就職し夜學でも好いから通學して勉強したなら、これは實に洋々たる前途があると云はなければならぬ。

現に獨學力行、高等文官試験に合格した人が鐵道省の高官の椅子に坐してゐるのである。その人は別に大學や専門學校を出た人でない。一介の雇員として就職し遂に努力の結果さうした榮冠を得たのである。

随つて給仕として就職し夜學に通つて努力を續ければ、高等文官試験に合格することも難くない。若し地方の鐵道局に在勤するものはその地の夜學の中等教育を終へ課長局長に幹旋して貰つて、東京に轉勤さして貰ふ様に努めるのである。そこには私立大學の完備した夜學があり、中でも日本大學、中央大學の如きは高等文官試験に合格する人の數がやゝもすると官學の帝大（東京帝大であつて地方の帝大は問題でない）を凌がんとしている……ものさへもある。

現在帝大を出てゐてさえも業務科勤務の人だつたら高等文官試験に合格してゐないと仲々高等官に成るのが遅いのである。現に東京鐵道局では同じ帝大を殆ど前後して



卒業してゐる人であるのに一人は高等文官試験に合格してゐたばかりにずん／＼と昇格し、豪然として課長の椅子にあるに反し、一方高等文官試験に合格してゐない人は、僅か係主任位のもので前者に比して至つてみじめな席に甘んじてゐなければならぬのである。

次に近頃は鐵道員を殆ど外部より採用しないことである。即ち始めに傭人として採用された者がその實力と成績に應じて漸次上級へ昇格するのが大部分を占めてゐて、たとへ外部から採用するとしてもそれは餘程學業成績の良い者でない駄目であり且つ又その採用人員は極く少數である。それでも業務科以外の技術に關した方面の科は割合に採用人員が多い。然したとへ鐵道學校を出たからと云へ、やはり普通受験者と同じく受験しなければならぬので、學校から直接推薦されるものは亦少數である。それでは一體高等小學校を卒業した程度の者にどうした進路が開かれてゐるか云ふと、最初傭人として採用され、それから「鐵道教習所」には入り、それから「専門部」へと云ふ有難い道が開かれてゐるのである。しかも之等は殆ど學費なしで通れる

道である。

#### 第四節 鐵道従業員の服務

抑々國有鐵道に職を奉ずるものは、官吏服務規律に従つて服従すべきは勿論であるが、鐵道には鐵道として特別の職務があるから、國有鐵道職員服務規程と云ふ、鐵道職員一般に通ずる服務規定を設けてゐる。従つて鐵道職員は誰でも更に此の服務規程に従つて仕事をしなければならぬのである。そして又各々が分擔する仕事の如何によつて更に細かな服務規程の適用を受けるのである。例へば驛員や車掌、機關手の様な運輸、運轉に關する仕事に従事してゐる者は運輸、運轉従事職員制、及び服務規程に従つて仕事をなし、線路工事保線従事員の如きは又各々その規定に依つて仕事をしなければならぬ。

次に吾が獨學者の進むべき唯一の方たる教習所規程をあげよう。



### 第五節 鐵道局教習所規程

鐵道局教習所に入り得るものは高等小學校卒業程度以上の學力を有し半年以上鐵道省管内に服務してゐなければならぬ。

第一條 本所ハ職員ノ徳性ヲ涵養シ、鐵道業務ニ須要ナル學術技能ヲ教授スル所トス

第二條 本所ハ各鐵道局所在地ニ之ヲ置キ、當該鐵道局長ヲシテ之ヲ管理セシム特別ノ事由アルトキハ鐵道局長ハ鐵道大臣ノ承認ヲ得テ分教所ヲ置クコトヲ得

第三條 本所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一、所長
- 二、幹事
- 三、講師
- 四、生徒監
- 五、生徒監補

六、醫師

七、書記

第四條 所長ハ鐵道局長ノ命ヲ承ケ一切ノ所務ヲ掌理ス

第五條 幹事ハ所長ノ命ヲ承ケ所務ヲ整理監督シ、所長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第六條 講師ハ所長ノ命ヲ承ケ生徒ノ教育ヲ掌ル

第七條 生徒監ハ所長ノ命ヲ受ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第八條 生徒監補ハ生徒監ノ職務ヲ助ク

第八條ノ二 醫員ハ所長ノ命ヲ承ケ生徒ノ衛生ヲ掌ル

第九條 書記ハ上司ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十條 本所ハ普通部、専門部（東京鐵道局教習所ニ限ル）及ビ專修部ヲ置ク普通部専門部ヲ各業務科、機械科、土木科及電氣科ニ分ツ

專修部ヲ驛員車掌科、電信科、信號操車科、機關手科、機關手助手科、檢車手科及電轉手科（東京鐵道局ニ限ル）電氣運轉手科、助手科（同上）及電車



鐵道員になるには

運轉手科(同上)ニ分ツ

第十一條 各部ノ修業期間左ノ如シ

一、普通部(三年)

二、専門部(二年)

三、專修部驛員車掌科(四ヶ月)

—— 電信科(六ヶ月)

—— 信號操車科(四ヶ月)

—— 機關手科(四ヶ月)

—— 機關手助手科(三ヶ月)

—— 檢車科(四ヶ月)

—— 電氣運轉手科(三ヶ月)

—— 電氣運轉助手科(三ヶ月)

—— 電車運轉手科(四ヶ月)

第十二條 各部ノ生徒定員ハ別ニ之ヲ定ム

(以上拔萃)

次に昨年度(昭和七年度)に於ける各部應募公告を鐵道公報上に掲示されたまゝ、擧げてそれに補則的な志願者心得を共述して解り易く述べて行かうと思ふ。

### 第六節 普通部(教習所)

普通部生徒募集(但し最も代表的な中央部鐵道教習所公告に依る)

東京鐵道局教習所普通部第一學年生徒左記ニ依リ募集ス

記

#### 一、募集人員

業務科 若干名

機械科 若干名

土木科 若干名



電氣科 若干名

二、募集區域 鐵道局管内全般

三、應募資格

左の各號の資格を具ふる者に限る

イ、本年何月何日に於て年齢十四歳以上二十五歳以下の男子たること。

ロ、本年何月何日に於て鐵道内に勤務しその成績良好なること。

四、志願手續

入學志願者は入學志願書を指定の期日迄に教習所長に提出すべし但し職員は之を所屬長に提出すべし（此の場合所屬長と云ふのは課長及び係主任のことで例へば檢車所、機關庫、電車所、保線區、通信區、電力區等各主任を指すのである）

前項の願を受理したる長、主任は審査の上適當と認めたるときは意見書（書式第二號）を添へ所屬長を経由し何月何日迄何何鐵道局教習所長に送達すること

五、入學試験科目及程度

學業試験は左の學科目に付修業期間二年の高等小學卒業程度を以て之を行ふ。

國語（講讀、作文）

算術（整數、小數、諸等數、分數、比例、歩合算）

六、入學試験日時及施行場所

一、試験日時割

自午前八時

自午前十時十分

至同 十時

至午後零時十分

何月何日（何曜） 算術、講讀、作文

二、試験施行場所………東京鐵道局教習所

七、入學期日 何月何日の豫定

八、入學願書其の他の様式



(様式第一號)

普通科入					課長 事務所長 工場長
鐵道就職 年月日	學歷大要	現住所	本籍	受験番号	
×	×	×	×	受験希望地	長主任
				×	
				氏名	
				(振假名ヲ付スコト)	
				年 月 日生( 歲)	

學願書

入學成績	記事	在勤地
		職身給料
	×	×

備考

- 一、本書中×印を附せる横は志願者に於て記入し所定期日迄に提出すべし。
- 二、姓名の下に捺印すること。

(様式第二號)

意見書

×



現勤務所官職給料 氏 名

- 一、鐵道就職年月日
  - 二、性質志操
  - 三、責任觀念
  - 四、操 行
  - 五、勤務狀態
  - 六、健 康
  - 七、將來ノ見込
  - 八、特ニ參考トナルベキ事項
- 年 月 日

何々主任 氏 名 印

○心得<sup>こころえ</sup>別<sup>べつ</sup>に心得<sup>こころえ</sup>としてあげる程のものでもないが、此<sup>こ</sup>の科<sup>か</sup>は大體以上各所共數百名の志願者<sup>しげんしゃ</sup>に對して僅<sup>わずか</sup>か數十名しか採用<sup>たよう</sup>しないので非常に競争<sup>きさう</sup>が激<sup>はげ</sup>しい。それ

に入學試験<sup>がくしゅうしけん</sup>には學科試験<sup>がくしけん</sup>の外體格検査<sup>がいたいかくけんさ</sup>があり必ず概評<sup>がいひやう</sup>乙以上でない<sup>と</sup>採用<sup>たよう</sup>されない。

次に專修部<sup>せんしゅうぶ</sup>に於ける代表<sup>だいひょう</sup>的な公告<sup>こうこ</sup>二三<sup>さん</sup>をあげて諸君<sup>しよきん</sup>の參考<sup>さんかう</sup>に供<sup>たす</sup>して見よう。

### 第七節 專修部(教習所)

專修部<sup>せんしゅうぶ</sup>第二十二回<sup>だいにじふにかい</sup>檢車手<sup>けんしやて</sup>科<sup>か</sup>生徒<sup>せいと</sup>を募集<sup>ほしふ</sup>す志願者<sup>しげんしゃ</sup>は教習所<sup>きやうじよ</sup>規程<sup>きじやう</sup>同規則<sup>どうきそん</sup>並左記<sup>なみさき</sup>了知<sup>りょうち</sup>の上長主任<sup>じやうしん</sup>より受験願書<sup>しけんげんしよ</sup>の交付<sup>かうこ</sup>を受け相當欄<sup>さうたうらん</sup>に必要事項<sup>ひつやうじきん</sup>記入<sup>きじり</sup>の上何月何日迄<sup>なんがつなんにち</sup>に所屬長<sup>しよぞくちやう</sup>に提出<sup>ていしゅつ</sup>すべし。

記

- 一、募集人員十五名
- 二、入學資格

檢車手見習<sup>けんしやてけんし</sup>。檢車助手<sup>けんしやてけんす</sup>又は八ヶ月以上檢車助手見習<sup>けんしやてけんすけんし</sup>の實務<sup>じつむ</sup>に従事<sup>じゆんじ</sup>したる者<sup>もの</sup>にして勤務<sup>きんむ</sup>の成績<sup>せいせき</sup>良好<sup>りやうたう</sup>なること。



- 三、募集締切期日 何月何日
- 四、入學試験

イ、期日及場所

何月何日(火)教習所及各運輸事務所に於て之を行ふ。

ロ、試験科目並時間

算術	自午前九時	至同十一時
----	-------	-------

講讀	自午前十一時十分	至午後零時十分
----	----------	---------

作文	自午後一時	至同 二時
----	-------	-------

- 五、入學期日何月何日の豫定。

以上

次に書式第一號及び第二號は前者普通部の書式と孰れも同一である。

× × ×

專修部第十九回機關手科生徒を募集す志願者は教習所規則及左記了知の上、長主任

より受験願書の交付を受け相當欄に記入の上何月何日迄に所屬長經由手續をなすべし

記

- 一、募集人員 二十五名

- 二、入學資格

一年十ヶ月以上機關助手の實務に従事し勤務の成績良好なるもの

- 三、募集締切期日 何月何日

- 四、入學試験

イ、期日及場所

何月何日(金)各運輸事務所に於て之を行ふ。

ロ、試験科目並時間

算術	自午前九時	至同十一時
----	-------	-------

講讀	自午前十一時十分	至午後零時十分
----	----------	---------

作文	自午後一時	至同 二時
----	-------	-------



鐵道員になるには

二八

技術 自午後二時十分  
至同 三時十分

五、入學期日 何月何日の豫定

以上

次に書式 第一號第二號の必要なることは前者と同一で、全般を通じて鐵道省規則を掲げて置かうと思ふけれど重複することが多く餘りに紙數を要するから時に應じて擧げて行く。

× × ×

東京鐵道局教習所專修部第五回保線科生徒左記に依り募集す。

記

- 一、募集人員 二十名
- 二、募集區域 鐵道管内全般(改良建設事務所内の入學志願者は當該局に申出のこと)
- 三、應募資格 線路工手長(含線路工手長心得)又は五年以上勤務したる線路工手にして勤務の成績良好なること。

#### 四、志願手續

入學志願者は入學願書(様式第一號)(用紙は關係保線事務所に請求のこと)を九月二日迄に勤務所の長、主任に提出すべし。

前記の願書を受理したる長、主任は審査の上相當と認めたるときは意見書(様式第二號)を添へ所屬長經由東京鐵道局教習所長に送達すること。

#### 五、入學試験學科目及程度

左の學科目に付修業期間二年の高等小學卒業程度を以て之を行ふ。

國語(講讀、作文)

算術(整數、小數、諸等數、分數、比例、步合算)

#### 六、入學試験日時及施行場所

(一)、試験日時割

自午前八時 自午前十時十分  
至同 十時 至午後零時十分

九月六日(火)算術、講讀、作文



(二) 試験施行場所……東京鐵道局教習所

七、入學期日 何月何日の豫定

八、入學願書其の他の様式は前者に於ける公告の場合と同じ。即ち第一様式並に第二様式のこと。

以上

× × ×

教習所専修部第二十九回電<sup>〇</sup>信<sup>〇</sup>科<sup>〇</sup>生徒を募集<sup>ほしよ</sup>す志願<sup>しがんしゃ</sup>者は教習所規程同規則並左記了知の上、長主任より受験願書の交付<sup>かうふ</sup>を受け相當欄に必要事項記入の上何月何日迄に所屬長に提出<sup>ていっ</sup>すべし。

記

一、募集人員 三十名

二、應募資格

九月一日に於て年齢十四歳以上二十三歳以下の男子にして勤務の成績良好なる雇

員又は傭人たること。

三、募集締切期日

何月何日

四、入學試験

イ、期日及場所

八月十六日(火)教習所及各運輸事務所に於て之を行ふ。

ロ、試験科目並時間(高等小學二年卒業程度に於て行はるゝは勿論なり)

算術 自午前八時 至同 十時

講讀及作文 自午前十時十分 至午後零時十分

英語 自午後一時 至同一時五十分 (この英語の試験は極く簡易なき)  
(のであるから心配する程でない)

五、入學期日 何月何日の豫定。

以上

以上四科の募集公告を掲げたことに依つて大體お解りになつたことと思ふが、但し



この鐵道省に於ける募集公告は全部内部的に公告されるのである。何度も云ふ様に諸君先づ最初に雇傭員に採用される事が心要である。

次に以上のそうした行き詰つた中であつて獨り電信科だけは、やゝ外部から採用される可能性があつて一昨年度あたりは随分外部から入れたもので、猶少數ながらその後も募集する毎に外部より採用されてゐる様である。

それから以上教習所各料を通じて受験せんとする者の健康状態は當該の局に屬する鐵道病院、鐵道治療所又は鐵道囑託醫に於て體身検査の結果乙種（視力は眼鏡を用ひずして完全に乙種たることを用す）以上に該當する者たることを要するのである。

入學後の待遇

假入學中ハ一日金五十錢ノ手當ヲ給シ、本入學後ハ雇トシ日給金六十錢ヲ給シ制服制帽及學用品ノ一部ヲ貸與シ（靴ハ自辨）全部寄宿舎ニ收容ス

食費ハ一ヶ月金十三圓五十錢ノ外舍費ヲ要セス

修業後の待遇及義務

イ、修業後ハ驛ノ電信係出札改札掛等ノ業務ニ從業セシメ月收約四十圓ヲ給シ尙順次運輸其ノ他ノ方面ノ係員ニ昇進シ且ツ教習所ノ他ノ科ニ入學ノ途アリ。

ロ、修業後ハ一年六ヶ月間鐵道部内ニ奉職スルノ義務ヲ有ス。

ハ、在學中又ハ修業後義務年限内ニ疾病若ハ自己ノ都合ニヨリ退學、退官、退職鐵道部外ニ轉居若ハ轉職シ退學ヲ命セラレタルトキハ在學中支給ヲ受ケタル給料其ノ他ノ給與ノ全部又ハ一部ヲ辨償セシムルコトアルヘシ。

### 第八節 専門部（教習所）

専門部は前述普通部のもう一つ上の段階にあつて、普通部出身者の受験資格を有するのは勿論であるが、全部中等學校卒業程度以上に依つて試験が施行されるものである。この専門部は全國に於て只一つ東京にあるのみで、中央並に地方の各鐵道局に於ける前途、希望多き少壯（獨學を含む）の青年は日々勉勵力學して自己の地位を向上せしめるべくひたすらこの専門部への合格へと努力してゐるのである。



次にその公告された専門部の募集公告をあげて見よう。

○東京鐵道局教習所専門部第一學年左記に依り募集す。

記

一、募集人員

業務科 若干名

機械科 若干名

土木科 若干名

電氣科 若干名

二、募集區域 鐵道管内全般

三、應募資格

左の各號の資格を具ふる者に限る。

A、本年何月何日に於て年齢滿十七歳以上三十歳以下の男子たること。

B、本年何月何日に於て二年以上鐵道部に勤務し其の成績良好なること。

但し教習所在學中の期間を除く。

四、志願手續

入學志願者は何月何日迄に入學願書(書式第一號)(用紙は鐵道局「除東京」内勤務者は關係鐵道局庶務課に其の他は東京鐵道局教習所に請求のこと)を添へ勤務ヶ所の長主任に提出すること。

前項の願書を受理したる長、主任は審査の上適當と認めるときは意見書(書式第二號)を添へ所屬長を経由し何月何日迄東京鐵道局教習所長に送達すること。

五、入學試験科目及程度

A、普通學科目

左の學科目に付中學校卒業程度を以て之を行ふ。

國語(講讀及作文)

英語(英文和譯及和文英譯)

數學(算術、代數及平面幾何)







八、其の他の事項

入學を許可せられたる者は入學前の身分給料を繼承す。但し、傭人たりし者は雇員とし附屬寄宿舎に收容し學習用具の一部及寢具を貸與す。

願書提出後入學許可迄の間に於て轉勤轉職身分變更其の他提出書類に記載したる事項に異動ありたるときは速に入學願書を提出したる長、主任經由東京鐵道局教習所長に届出づべし。

九、入學願書其の他の書式（即ち書式第一號、第二號）は前述普通部の書式と同様なり。

以上

以上述べた専門部は勿論高等専門學校程度の教育を施す處のものであるが、前にも云つた様に全國に一しかないものだから志願者の競争が非常に激しく各科共皆若干名としてあるけれど、實質上に於ては業務科約三十名位、機械、土木、電氣の各科を通じて約十五名づゝ位のものでその勤少なるに比し志願者は數千人の多きにのぼるのである。

ある。かゝる最近の實情を見ても如何に吾人が日々勉強克苦しなければならぬかと云ふことは明かである。然しそれは總てが自分の生活の安定と、向上の爲であるから一生懸命に努力を拂はれることに依つて勝利を得られることと思ふ。

次に以上の募集公告に些か付け加へて置きたいことは身體検査と人物試験であつて先づ身體検査は孰れの場合も同じく必ず概評乙以上でなければならぬ。そして人物考査に於てはこれもやはり普通部試験や他の各科の試験と大體同じく大抵時局問題や常識的な鐵道に關する諸問題が出され只時として専門的特殊な鐵道規程とか規則とか云つた様なものが出される。

そうしてこの専門部を卒業すると待遇も随分よくなり任官するのも早くなる。

大體以上に依つて高等小學卒業程度の人の進路的機關は終つた様である。最も次に述べる鐵道省給費生となれないこともないが、（但し専檢合格者でないとならない）これになる者は全くないと云つて良い程で、まあ専門部まで行ければ成功と云はねばならぬ。



### 第九節 鐵道省給費生募集

昭和七年度に於て採用すべき鐵道省給費生を募集す其の要項左の如し

(一) 採用人員

若干名

(二) 通學せしむべき學校

- 一、各官立高等商業學校
- 二、東京商科大學附屬商學專門部
- 三、各官立高等工業學校
- 機械科、土木科、建築科、電氣科
- 四、北海道帝國大學附屬土木專門部
- 五、各官立高等商船學校
- 六、各官立外國語學校

東京外國學校、英語部(法律を選修する文科、貿易科)

露語部(同上) 支那語部(同上)

大阪外國語學校 英語部 露語部 支那語部

(三) 出願資格

- 一、昭和七年何月末日に於て年齢十七歳以上三十五歳以下の男子たる事
- 二、昭和七年何月末日に於て三年以上鐵道部内に於て實務に従事の其の成績良好なる事
- 三、上記の學校に在學する者又は入學試験に應ずべき資格を有する者たる事

(四) 待遇

現官職のまま通學せしめ俸給給料其の他の諸給與を支給する外入學科授業料  
實習科其の他學校の規定により納入すべき學修費用等を支給す

(五) 出願手續

志願者は給費生採用願(書式規程参照)に左の書類を添へ何月何日迄に所屬長



に差出すべし

- 一、履歴書(書式規程参照)
- 二、鐵道醫又は鐵道囑託醫の身體検査證
- 三、現に在學中の者に在りては其の在學證明書(其の他の者に在りては學業成績證明書書式規程参照)

(六) 採否決定

何月下旬迄に採否決定の見込

(注意)

- 一、専門學校入學者試験檢定合格及成績證明書の交付を受けんとする者は、「文部省普通學務局庶務課に請求する事
- 一、文部省に於ては前記證明者は直接本人に交付せざる趣に付同省に右證明書の交付方を請求せんとする者は必ず其の送付先(鐵道局所屬の者に在りては庶務課長宛其の他の者に在りては所屬長宛)を明記する事

以上

募集公告は以上の如くであるが吾々の直接關係のないものであるから、敢て詳述せず。依つて規程など一々掲げないけれど、先づ一通り眼を通して見ると、この鐵道省給費生が鐵道省に於て如何に重要性を帯びてゐるかと思ふ。即ちこれが鐵道省に於ける唯一最高の學校教育機關で、その受験者の採否決定は鐵道大臣直接になされるのであつて、採用人員は、僅か十五名位に對しこれも志願者が何千人と云ふ夥しい數である。

で、これをもう少し具體的に話すると即ち、現在鐵道省部内に立働く中學校、甲種實業學校、並に專檢合格者と云つた様な中等學校卒業程度の人が居る譯で鐵道省はそれらの人にわざわざ費用を與へて前記募集公告の二、通學せしむべき學校のどれにでも自分の好きな學校へやつてあげるのであるがそれにはやはり全部が全部と云ふ譯には行かぬので此處に少數の鐵道省給費生を募集する譯である。この給費生は必ず高等専門學校でない駄目であつて、學部を志望することは出來ないのである。進んで、







鐵道員になるには

英語	五
地理	二
數學	六
物理化學	四
體操	二
製圖及實習	一
計	四二

英語	四
數學	四
物理化學	三
法制經濟	一
體操	二
應用力學	三
電氣工學	四
發動機	四
製圖及實習	一一
計	四二

四六	
英語	三
數學	三
應用化學	二
電氣工學	三
發動機	四
材料工具及工作法	二
運輸	二
運轉	三
車輛	四
線路	一
電氣通信	一
製圖及實習	一三
計	四二

土木科

第一學年

修身	一
國語	四
英語	五
地理	二
數學	六
物理化學	四
圖畫	三
材料及工具	三
體操	二
製圖及實習	一二
計	四二

第一章 鐵道員

第二學年

修身	一
國語	三
英語	四
數學	四
物理化學	三
法制經濟	一
地質學	一
應用力學	三
材料及工具	二
施工學	二
測量法	二

第三學年

修身	一
國語	二
英語	三
數學	三
應用力學	二
機械學	二
施工學	二
測量法	二
體操	一
土木工程	二
運輸	二

四七



鐵道員になるには

四八

電氣科

第一學年

修身	一
國語	四
英語	五
地理	二
數學	六

第二學年

修身	一
國語	三
英語	四
地理	一
數學	四

第三學年

修身	一
國語	二
英語	三
地理	一
數學	三

體操	二
土木工學	五
製圖及實習	一一
計	四二
運輸	二
車輛	一
線路	三
製圖及實習	一三
計	四二

物理化學	四
法制經濟	一
圖畫	一
體操	二
應用力學	一
發動機	一
材料工具及工作	三
法	一
電氣磁氣及測定	二
電氣機械	三
應用電氣	三
發變電所配電法	三
運輸	二

物理化學	三
法制經濟	一
圖畫	一
體操	一
應用力學	二
發動機	一
材料工具及工作	一
法	一
電氣磁氣及測定	二
電氣機械	三
應用力機	四
發變電所及配電法	一

物理化學	一
法制經濟	一
圖畫	一
體操	一
應用力學	二
發動機	二
材料工具及工作	一
法	一
電氣磁氣及測定	一
電氣機械	一
應用電氣	三
發電所及配電法	三
運輸	二

第一章 鐵道員

四九



鐵道員になるには

運輸	一	運輸	一	運輸	五〇
運轉	一	運轉	一	運轉	二
車輛	一	車輛	一	車輛	一
線路	一	線路	一	線路	一
電氣通信	一	電氣通信	一	電氣通信	一
製圖及實習	一二	製圖及實習	一一	製圖及實習	一三
計	四二	計	四二	計	二四

專門部各科ノ學科目及其ノ每週教授時數左ノ如シ

業務科

第一學年

修身	一
國語	二
作文	一

第二學年

修身	一
珠算	一
英語	六

珠算	一	民法商法	二
英語	六	商品學	二
交通地理	一	運輸帳表	一
法學通論	三	鐵道會計	二
經濟學	三	鐵道統計	一
簿記	二	旅客	二
鐵道總論	二	貨物	五
鐵道會計	二	船舶	一
旅客	二	連帶運輸	一
線路	一	運轉及信號	二
運轉及信號	二	運轉理論	一
車輛	二	停車場	二
通信法規	一	保安裝置	二

第一章 鐵道員



鐵道員になるには

保健 二

計 三四

電氣工學 一

電氣通信 一

計 三四

五二

機械科

第一學年

修身 一

作文 一

英語 五

數學 七

物理學 三

力學 一

材料強弱學 二

機械學 一

第二學年

修身 一

英語 三

數學 三

機械學 一

熱及熱機關 二

材料及工作法 ナシ

機關車 一

客貨車 二

熱及熱機關 一

材料及工作法 二

機關車 二

客貨車 一

運轉信號 二

運輸 一

線路 一

製圖 五

實驗及實習 二

計 三八

列車制動機 二

水力學水力機械 二

電氣機械 二

電機工學 一

運轉及信號 二

運轉理論 二

停車場 二

保安裝置 一

電氣通信 一

鐵道會計大意 一

法制大意 一

製圖 五

實驗及實習 二



鐵道員になるには

土木科

第一學年		第二學年	
修身	一	修身	一
作文	一	英語	三
英語	五	數學	三
數學	七	地質學	一
物理學	三	材料及施工	三
應用力學	四	水理	二
測量學	三	鐵筋混凝土	二
線路	二	橋梁	四
車輛	二	隧道	一
運轉信號	二	建築	二
計	三八	計	三八

五四

電氣科

第一學年

第一章 鐵道員

運輸	一
法制大意	ナシ
製圖	五
實習	二
計	三八

第二學年

土木機械	一
線路	ナシ
停車場	二
保安裝置	二
電氣工學	一
電氣通信	一
鐵道會計大意	一
法制大意	一
製圖	五
實習	二
計	三八

五五



修身	一	修身	一
作文	一	英語	三
英語	五	數學	三
數學	七	電氣磁氣測定及	
物理學	三	器具	二
電氣及磁氣	四	電氣機械	二
電氣磁氣測定及		電燈電力	三
器具	ナシ	電線路	二
電線路	二	電機鐵道	二
金屬及電氣材料	一	電氣通信	三
電氣通信	二	電氣信號	四
線路	一	機械工作法	一
車輛	二	停車場	二

運轉及信號	二	保安裝置	二
運輸	一	鐵道會計大意	一
製圖	四	電信法規	一
實驗及實習	二	法制大意	一
計	三八	製圖	三
		實驗及實習	二
		計	三八

各科ヲ通ジ科外トシテ相當時數體操及武道ヲ課ス。  
專修部各科ノ學科目及其ノ每週教授時數左ノ如シ

驛員車掌科

國語	二	鐵道地理	一	車輛	二
英語	二	運輸	一二	線路及保安裝置	四
數學	三	運轉	五	電氣	一



鐵道員になるには

經理 二

科外講話

一

計

三五

電信科

國語 一

運輸

一

科外講話

一

英語 二

電氣

三

計

四二

數學 二

規程

五

運輸 五

實習

二二

信號操車科

國語 二

運輸

六

實習

八

英語 二

車輛

三

科外講話

一

數學 三

線路及保安裝置

六

計

三五

運輸 三

電氣

一

機關手科

英語 二

數學

四

運輸

三

五八

車輛 八

規程

四

計

三四

線路及保線裝置 二

實習

八

電氣 二

科外講話

一

機關助手科

英語 二

焚火法

四

科外講話

一

數學 三

規程

三

計

三四

車輛 七

製圖

五

線路及保安裝置 一

實習

八

檢車手科

英語 二

電氣

二

實習

八

數學 四

規程

四

科外講話

一

車輛 八

製圖

五

計

三四

機運轉手科

第一章 鐵道員

五九



鐵道員になるには

英語	二	線路及保安裝置	二	科外講話	一
數學	四	電氣	二	計	三四
運輸	三	規程	四		
車輛	八	實習	八		
電機運轉助手科					
英語	二	電氣	六	科外講話	一
數學	三	規程	三	計	三四
車輛	七	製圖	五		
線路及保安裝置	一	實習	六		
電車運轉手科					
英語	二	車輛	五	規程	四
數學	四	線路及保安裝置	二	製圖	四
運轉	二	電氣	六	實習	四

科外講話 一 計 三四

ヲ各科通シ科外トシテ相當時數體操及武道ヲ課スルコトヲ得。

### 第十節 現鐵道從業員の待遇

#### 俸給と給料

判任官以上の官吏の服務に對する報酬を俸給と謂ひ、鐵道手以下雇員傭人に支給せられるものを給料といふ。給料には月給と日給との區別がある。月給は原則としてその月の勤務日數に關係なく全額を支給するが、日給は實際に勤務した日數に應じて支給せられる。然し左の日數は勤務日數に算入せられ給料を支給せられる。

- 1 休暇日
- 2 非番の日
- 3 父母の祭日
- 4 忌引日數



- 5 出張中の病氣缺勤
- 6 職務上の傷痕又は疾病による缺勤
- 7 傳染病者の爲め交通遮断又は隔離法施行中の缺勤
- 8 徴兵検査又は簡閱點呼當日の缺勤並に四月以後に於て轉勤を命ぜられた者が舊任地に於て徴兵検査又は簡閱點呼を受くる場合に於て往復に要する最少限度の日數
- 9 大火事其他非常罹災による三日間内の缺勤
- 10 職務上に係る事件に付證人參考人又は鑑定人として裁判所に召喚せられた當日の缺勤
- 11 休暇規程による慰勞休暇日

特別手當

特別の勞務に服する者には俸給給料外に特別手當を支給せられる。例へば出札掛には出札勤務手當、車掌其の他の乗務員には乗務手當がありその他にも又各務によつ

て割増金を支給される尙宿直又は徹夜勤務をすると一夜につき十七錢以上五十錢以下の夜勤手當が交付される。

年功加俸

年功加俸は鐵道手以下の従事員にして滿五ヶ年以上勤續する者に支給せられる其の金額は勤續

五年以上	二圓
十年以上	三圓
十五年以上	四圓
二十年以上	五圓
二十五年以上	六圓
三十年以上	八圓

宛毎月支給される。

賞與



毎年六月及び十二月の兩期には賞與金を給與される。尙其の他大都市及其の附近勤務者には都市手當を支給されることになつてゐる。

○無賃乗車證

國有鐵道の無賃乗車證には臨時乗車證と定期乗車證の二種がある。臨時乗車證とは一ヶ月以内の使用期限を有し、必要の都度臨時に發行するもので、定期乗車證とは一年十日以内の期限でその間何回でも使用することの出来るものである。乗車證を交付せらるゝ場合は次の如くである。

第一公務乗車證

職員が公務上旅行する場合に發行するものである。普通には臨時乗車證を發行するが常時頻繁に旅行する者はその都度臨時乗車證を發行するの繁を避け定期乗車證を發行する。

第二公務乗車證

職員が徴兵検査兵役召集其他公務に準ずべき旅行をなす時發行される。

第三 通勤乗車證

之は住所地最寄の停車場から勤務場所までの間を乗車する爲發行するもので記名定期乗車證が充てられてゐる。

第四 病氣治療及看護乗車證

本人又は家族が病氣の爲め通院治療を要する場合及附添看護者に發行せらるゝ乗車證である。

第五 家族乗車證

家族待遇の爲職員と同一戸籍にある家族及戸籍を異にするも實父母に限り發行される。雇員は一年以上、傭人は三年以上勤続すれば、此の乗車證を交付せられる資格を有する。

第六 通學乗車證

職員が家族が通學する場合には住所地及び學校所在地の最寄の驛間を往復する爲に通學定期乗車證を交付される。



### 第七 僻阪地乗車證

僻阪地とは邊鄙な地方を云ふ。僻地に勤務してゐる人は買物をする爲汽車で旅行しなければならぬから、さういふ家族に對しては毎週一回附近の市場までの乗車證を交付するのである。

### 第八 退職乗車證

退職した時本人及同伴家族に對し轉住の爲に乗車證の交付を受くることが出来る。

### 第九 永年勤績者乗車證

職員は誰でも一定の期間勤績すると、その功勞に酬ゆる爲め、退職後一定回数乗車證を交付される。

## 第二章 鐵道學校

### 序

鐵道學校は鐵道知識に關する唯一の門戸たる組織的教育機關であるから、實際に於

ては交通の發達と共に大いにその前途を發展せしむべきものであるが、茲に二三年その進路たる鐵道省の職員が年々過剩を來たす様な結果となつてからは、全く停頓の状態にある。然しそれかと云つてそれ程憂慮すべきものではない、これは一時的のものであつて、現在はやゝその就職の曙光が見え初め、例へば本年春の鐵道省に於ける大募集の如きはさうであつて、かゝる現状から見ても又一方大滿蒙に於ける鐵道事業の大發達を目前にひかへては、朝鮮、臺灣、北海道の未開地と共に大いに前途遼遠なるものがある。

斯様な現實に直面しては誰しも肯かない。ものはない。何ぞ憂ふるに足らん、吾等鐵道學校卒業者の前途は今からである。

おゝ！ 獨學の諸君よ、諸君は宜しくこの學窓に學ばれることを最も良き得策と認むるであらう。

次に鐵道學校の實際を知るべくその代表的な二、三の學校の規則をあげて、諸君の參考に供さう。



鐵道員になるには

六八

猶ほ序でに次章に述べる以外の著名な二、三の學校名と所在地を紹介して置かう。

校名 所在地

岩倉鐵道學校 東京市下谷區上車坂町

日本鐵道學校 東京市澁谷區

鹿兒島鐵道學校 鹿兒島市

### 東亞鐵道學校學則摘要

創立 明治三十七年六月一日

位置 熊本市本莊町二二七

#### 第一章 總則

第一條 本校ハ鐵道ニ關スル業務並ニ土木ノ二科ヲ置キ之レニ從事スル者ノ爲メニ必

要ナル智識技能ヲ授ケ徳性ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第二條 修業年限ヲ二ケ年半トス

第三條 生徒ハ春秋(四月、十月)ノ二季ニ募集ス

第四條 生徒ノ定員ヲ六百名トス

#### 第二章 學年及休業日

第五條 學年ヲ分チテ左ノ二學期トス

第一學期 四月一日ヨリ九月三十日迄

第二學期 十月一日ヨリ翌年三月卅一日迄

#### 第三章 學科課程

第六條 學科課程左ノ如シ

其一 業務科

學科目	第一學年			第二學年			第三學年
	前期	後期	課程時數	前期	後期	課程時數	課程時數
	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上



學科 目	第一學年			第二學年			第三學年
	前期	後期	上同	前期	後期	上同	上同
課程 數	同	同	上同	同	同	上同	上同
授 時 間 數	同	同	上同	同	同	上同	上同

學科課程及每週教授時間數

其二、土木科

備 考	實 習	計	通信法規			
			帳 表	車 輛	保 線	保 線
第二學年後期ヨリ課外トシテ滿洲語ヲ課ス	第三學年鐵道業務一班實習各驛派遣四十日	三三				
		三四				
		三四				道公 電衆 報鐵
		三四				道公 電衆 報鐵
		三四				保線一班 車輛一班 帳表一班 道公電報
		三四				二 二 二 二

鐵道員になるには												
修 法	讀 法	習 作	理 科	英 語	數 學	歷 史	地 理	珠 算	武 道	貨 物	旅 客	運 轉
要 業 道 德	國 語 漢 文	往 復 文	楷 書	講 讀	算 術 代 數	日 本 史	日 本 地 理	加 減 速 算	體 操 教 練			
一 同	七 同	一 同	二 同	五 同	八 同	二 同	二 同	二 同	一 同			
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上			
一 同	七 同	一 同	二 同	五 同	七 同	一 同	一 同	二 同	二 同			
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上			
一 同	七 同	一 同	二 同	五 同	七 同	一 同	一 同	二 同	二 同			
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上			
一 同	五 同	一 同	二 同	二 同	六 同	二 同	二 同	二 同	一 同			
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上			
一 同	三 同	一 同	二 同	三 同	三 同	二 同	二 同	二 同	一 同			
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上			







第九條 學年試験ノ評點ハ各科目一百點ヲ滿點トシ四十點以上ヲ合格點トス 但總科目平均六十點ニ滿タサルモノハ不合格トス

第五章 入 學

第十條 入學ハ每學期ノ始メニ於テ考査及ヒ體格檢査施行ノ上之ヲ許可ス

第十一條 入學セムトスル者ハ本則末尾ノ入學願書ヲ切取リ之ニ記入調印シ最近ニ在學セシ學校長ノ成績證明書ニ考査料金貳圓ヲ添へ受験前日迄(春季ハ四月九日秋季ハ十月四日)願出スヘシ

但願書提出期ニ後レタルモノハ特ニ考査スル事アルヘシ

第十二條 入學志願者ハ年齡滿十四年以上十八年以下ニシテ身體健全ナルモノ

第十三條 志願者資格左ノ如シ

高等小學校卒業及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者

第六章 學 資

第十四條 學資凡ソ左ノ如シ

一、授業料年額金四拾貳圓〔一月四月七月十月ノ四回ニ其月五日限り分納ス〕

二、書籍代約金八圓〔新入學ノ時ニ限ル〕

三、學用品約金四圓五十錢 (靴竹刀小手)

四、被服費約金拾參圓 (帽服靴脚絆)

五、校友會費年額金六圓 〔授業料ト共ニ四回ニ分納シ外ニ入會費壹圓ヲ要ス〕

六、寄宿舍費毎月食費拾壹圓舍費壹圓

但入舍當月食費ハ日割計算トシ校則ニ定タル夏期冬期及試験休暇等ノ場合歸省ヲ許シタルトキハ一定ノ日數ヲ控除ス

第十五條 授業料ヲ納付セサルトキハ未納中昇校ヲ禁シ本人及保護者ニ催告シ尙納付セサルトキハ除名ス

第十六條 授業料ハ疾病或ハ事故ニ依リ數月引續キ缺席スルモノト雖モ學籍ニ在ル間ハ之ヲ納付スヘシ

第十七條 實習ノ爲要スル費用ハ生徒ノ自辨トス



第十八條 既納ノ學資ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返戻セス

第七章 賞 罰

第十九條 成績優等品行方正ニシテ他生徒ノ模範トナルヘキモノハ次學期中優等生トシテ之ヲ表彰ス

第二十條 優等生ハ左ノ資格ヲ具フルモノニ限ル

成績一科八十點以上總科平均九十點以上ヲ得タル者

第八章 寄 宿 舍

第廿一條 生徒ハ總テ本校寄宿舎ニ入舎スヘキモノトス

第廿二條 本校ニ於テ相當ト認ムル監督者ノ宅ヨリ通學スルモノ其他特別ノ事由アリテ入舎シ難キ者ハ其事由ヲ認メ保護者連署ニテ願出テ許可ヲ受クヘシ

寄 宿 舎 規 則

第一條 本校ニ寄宿舎ヲ置キ生徒ヲ寄宿セシメ秩序風紀ノ改善ヲ期シ兼テ鐵道職員タルヘキ精神ヲ涵養セシムルモノトス

第二條 寄宿舎ニ舎監及室長ヲ置ク

舎監ハ校長ノ命ヲ承ケ舎生ノ指揮監督ニ任シ寄宿舎ニ於ケル諸般ノ事務ニ任ス

室長ハ舎監ノ指揮命令ニ從ヒ舎生ヲ指揮シ兼テ舎監ヲ輔佐スルモノトス

第三條 舎監事故アリテ不在ノ時ハ室長之ヲ代理ス

第四條 起床、就寢、門限及自習時間左ノ如シ

自十月一日 自四月一日

至三月卅一日 至九月三十日

起床午前六時 起床午前五時

門限 〔授業終了後午後六時迄〕

門限 〔授業終了後午後七時迄〕

但シ土曜日ニ限リ 午後七時迄

但シ土曜日ニ限リ 午後八時迄

自習 〔自午後六時 至午後九時三十分〕

自習 〔自午後七時 至午後九時三十分〕



就床 午後九時三十分

就床 午後九時三十分

消燈 午後九時四十分

消燈 午後九時四十分

第五條

朝夕二回人員検査ヲ行フ其朝ニ於テスルモノヲ日朝點呼ト云ヒ夕ニ於テスルモノヲ日夕點呼ト云フ其時限左ノ如シ

日朝點呼ハ起床後即日夕點呼ハ門限即時

第六條

寄宿舎ノ附屬物件若クハ物品ヲ毀損又ハ紛失シタルトキハ相當ノ辨償ヲナサシム若シ其責任者不明ナルトキハ其室内ノ者全體ニ對シ辨償ノ責ニ任セシムルコトアルヘシ

第七條

舎生ハ左記ノ各項ヲ遵守スヘシ

- 一、和服着用ノ場合ハ筒袖ニ限ルモノトス
- 二、日朝點呼ノ後戸障子ヲ開キ空氣ノ交換ヲ爲シ寢具ヲ收メ洗面ノ後器具及被服ヲ整頓スヘシ
- 三、夜具其他ノ物品ハ押入其他一定ノ場所ニ整頓シ室内ハ常ニ清潔ニ保持ス

ヘシ

- 四、歸省外泊若クハ門限時間外ニ外出セントスルトキハ其事情ヲ具シ室長ヲ經テ舎監ニ願出許可ヲ受クヘシ
- 五、舎生ニシテ外來者ニ面會セントスルトキハ室長ヲ經テ舎監ニ届出其許可ヲ受クルニアラサレハ面會人ヲ寄宿舎ニ入ルルコトヲ禁ス
- 六、物品及金錢ノ貸借ハ總テ舎監ノ許可ヲ受クニアラサレハ之ヲナスコトヲ得ス

七、樂器ヲ奏シ又ハ放歌高聲ヲ發スヘカラス

八、猥リニ他室ニ立入ルヘカラス

九、自習時間中猥リニ自己ノ机ヲ離レ若クハ雜談ヲナスヘカラス

十、通學生ヲ猥リニ寄宿舎内ニ入ラシムヘカラス

十一、室内内外ヲ問ハス喫煙飲酒ヲナスヘカラス

十二、消燈後自習ノ爲メ尙點燈ヲ要スルトキハ日夕點呼前ニ於テ其旨ヲ舎監



ニ届出テ許可ヲ受クヘシ

十三、寄宿舎ノ清潔ヲ保ツ爲メ掃除當番ニ服セシム其人員及掃除方法ハ舎監之ヲ定ム

第八條 本則ニ反シ若クハ舎監ノ命令其他室長ノ訓戒ニ從ハサルモノハ其事情ノ輕重ニ依リ校則ニヨリテ處分セラルルコトアルヘシ

入學志願者心得

◇入學上ノ注意

一、入學願書ヲ受理シタルトキハ番號ヲ記入セシ端書ヲ以テ通知スヘキニ付キ受験當日ハ必ス之レヲ携帯スヘシ

二、入學考查ハ毎年四月十日及十月五日二回トシ考查ハ博多驛内鹿兒島驛内及ビ本校ニ於テス

三、考查ハ高等小學二年修業程度ニ於テ行フ

四、入學志願者ニハ學科考查ノ外更ニ身體検査ヲ行フニ付身體ヲ清潔ニシテ出場スヘシ

シ

五、體格検査ハ國有鐵道從業員採用ノ標準ニ據リ大凡左ノ各項ニ就テ之ヲ行フ

身長、體重、視力、辨色力、眼疾、聽力、手足、言語、胸圍、胸部擴張、傳染性皮膚病、種痘、一般疾病、腋臭、耳病

六、入學ヲ許スヘキモノ及不合格者ニ對シテモ當校ヨリ通知ス

七、入學願書ニ記入スル本籍氏名生年月日等ハ戶籍ト同一ナルハ勿論總テ字體ヲ正シク書シ且ツ入學願書ノ氏名ニ片假名ヲ附スヘシ

八、學則ヲ要スルモノハ貳錢郵便切手ヲ送附スヘシ否ラサレハ之カ求メニ應セサルコトアルヘシ

九、既納ノ受験料ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返戻セス

一〇、受験者ハ袴又ハ洋服ヲ着用シ辨當ヲ携帯スヘシ

一一、遅刻者ハ入場ヲ許ササルコトアルヘシ



### 入學願

原籍	縣	郡市	村町字	番地職業
戸主	續柄	弟男		
現住	縣	郡市	村町字	番地職業
本人氏名				
受驗地	父兄		年 月 日 印	
學歷	年 月	學校ニ入り	年 月 卒業	
賞罰				
御校 <sup>業務科</sup> 土木科 <sup>土木科</sup> 入學志願ニ付キ御許可相成度受驗料(爲替又ハ現金)金貳圓相添相願候也				

昭和 年 月 日

右本人氏名

東亞鐵道學校長

殿

注意 志願者中業務科志願ノモノハ土木科ヲ消シ土木科志願ノモノハ業務科ヲ消スヘシ

### 東京鐵道學校要覽

(東京市麹町區三番町三番地ノ七)

#### 第一章 目的名稱及修業年限

第一條 本校ハ鐵道事業ニ従事スヘキ者ノ爲メ須要ナル實務的學術技能ヲ授クルヲ以テ目的トス

第二條 本校ハ東京鐵道學校ト稱ス

第三條 本校ニハ業務科土木科ノ二學科ヲ置ク

#### 第二章 鐵道學校







課目	國語			漢文	英語		珠算	鐵道總論	鐵道法規	法制經濟
	國語	作文習字	講讀		作文文法	會話				
修身	一	一	一	一	二	三	一	一	一	一
國語	一	一	一	一	二	三	一	一	一	一
漢文	一	一	一	一	二	三	一	一	一	一
英語	一	一	一	一	二	三	一	一	一	一
珠算	一	一	一	一	二	三	一	一	一	一
鐵道總論	一	一	一	一	二	三	一	一	一	一
鐵道法規	一	一	一	一	二	三	一	一	一	一
法制經濟	一	一	一	一	二	三	一	一	一	一

司法警察	一	一	一
實習	數時	數時	數時

本科建設科

課目	數學			工業英語	英語	修身法制經濟
	工業數學	三角法	幾何			
第一期	一	二	二	一	二	一
第二期	二	一	一	一	二	一
第三期	二	一	一	二	一	一
課目	鐵道工程學			橋梁學	結構強弱學	應用力學
	建築學	電氣鐵道	鐵筋混凝土學			
第一期	一	一	一	一	二	一
第二期	一	一	一	二	一	二
第三期	二	一	二	二	一	一



鐵道統計論	鐵道會計論	交通地理	交通學	社會政策	經濟政策	經濟學	刑法	商法	民法	國際法	行政法
—	—	—	—	—	二	二	—	—	—	—	—
—	—	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—
課外講座	計		珠算	英語	鐵道法規	電氣通信	鐵道運賃論	鐵道經營論			
數時	二五		—	三	—	—	—	—			
數時	二六		—	三	二	—	—	—			

高等科業務科

課目	學期	第一期	第二期
憲法	倫理	—	—
運輸理論	運輸理論	二	—
		—	二

力學	水理及治水學	電氣工學	機械工學	道路學	法	施工
					材料構造	工事實施
—	—	—	—	二	—	二
—	—	—	—	—	—	—
測量實習	計	製圖	設計及講義	製圖	測量學	
數時	二四	四	二	二	二	
八	二五	二	二	二	二	
八	二五	五	一	—	—	

鐵道員になるには



鐵道員になるには  
高等科建設科

課目	學期		課目	學期	
	第一期	第二期		第一期	第二期
工業英語	二	三	道路工學	一	
數學 三體幾何 立體幾何 解折幾何 微分積分	三	二	鐵道土木學		一
力學	一		電氣工學		二
水力學	一		機械工學		二
地質學	一		運轉理論		二
鐵道工學	二	二	鐵道法制	一	
河海工學	二		工業經濟		一
衛生工學	一		社會政策		一
建築工學	一	二	測量及測地	二	
			設計及製圖	四	四

橋梁學 鐵筋混凝土學 應用力學	計		測量實習	數時	數時
	三	三			
	二	三		二四	二六

第八條 省略ス

第四章 省略ス

第九條ヨリ第二十三條マデ省略ス

第五章 省略ス

第二十四條ヨリ第二十六條マデ省略ス

第六章 學費

第二十七條 授業料ハ每學期始業日ヨリ五日以内ニ又新ニ入學スルモノハ入學ノ際左  
ノ通り前納スヘシ 豫科本科 一學期分 金貳拾四圓 高等科 一學期分

第二章 鐵道學校



金參拾參圓

第二十八條 前條ノ學費ヲ前納シ得サル者ハ出願ノ上左ノ通分納スルコトヲ得

豫科本科 毎月金四圓 高等科 毎月金五圓五拾錢

第二十九條 學費分納者ハ毎月五日限トス但シ一月ハ十二月八月ハ十五日限リトス新ニ入學スル者ハ入學ノ際トス

第三十條 實習又ハ實驗ノ爲メ特ニ費用ヲ要スル場合アルトキハ此ノ規定ノ外之ヲ徵收ス

第三十一條 如何ナル事情ニ依リ缺席ヲ爲スモ本校ニ在籍スル期間ハ必ス學費ヲ納付スヘシ但シ兵役ニ服スルトキハ其ノ現役中學費ヲ徵收セス

第三十二條 一旦納付シタル學費其他諸料金ハ之ヲ還付セス

第七章 省略ス

第三十三條ヨリ第三十五條マデ省略ス

寄宿舎則

別ニ此ヲ定ム現收容生五十名ナリ

○卒業生就職狀況

本校卒業生三千有餘名中主トシテ國有鐵道（鐵道省各鐵道局各運輸事務所建設改良保線電氣各事務所並ニ全國各驛）ニ就職シ少部ハ南滿鐵道朝鮮鐵道東武鐵道臺灣鐵道地下鐵道其他各地ノ私設鐵道內務省遞信省府縣廳等ニ從事シ特殊事情アルモノノ外ハ全部就職濟ナリ

次に附録として左の如き詳細な情況まで報道されてあり。

鐵道從業員の大募集

濱口内閣時代に新規不採用主義をとつて人事の門戸を閉ざしてゐた鐵道省も、昭和八年の春に於て千五百名の大量募集を敢行したのである。鐵道省人事課では昭和七年度十一月末までの缺員七百名を補充するためと、今一つは此の缺員を補充する時に滿洲國の鐵道に従事するため、經驗ある從業員を四、五百名移させることの爲にその補充を含めて、遂に千五百名の大採用となつて現はれたものであると聞いてゐる。



今試みに昭和八年一月二十六日の東京朝日新聞に掲載された記事をあげて見る。

「江木鐵相時代には新規不採用主義をとつて人事の門戸を閉ざしてゐた鐵道省では三士鐵相の就任と共に七年度の初めに不採用の鐵則を打破して若干の新規採用を見たが更に八年度中には全國を通じて幹部候補生（専門學校以上）を除き約千五百名の大量的な新規採用を行ふ事に内定した。就職地獄時代に誠に耳よりな話である。

既に同省人事課では八年度中の採用は七年度十一月末現在の缺員七百名の補充を限度とすべき旨各鐵道局に通知したが、この缺員補充の外に滿洲の鐵道に従事するため經驗ある從業員の四五百名を七年度末から仙臺、札幌の兩鐵道局を中心に選抜し移住せしめるので、當時その補充も併せ行はねばならぬのに、普通缺員の補充にも多少の餘裕を認めて千五百名となつて現はれたのである。

右の採用試験は三月下旬より全國各地に於て施行されたのであるがその受験者は豫期の如く殆ど幾萬といふ程であつた。

都會、農村、地方を問はず、他日鐵道界の人とならんと志すの士は此の趨勢を洞察

し着々準備をすゝめて、來るべき日に備ふべきであらう。

陳 情 書

一、自今貴省職員御採用ニハ鐵道學校卒業生ヲ優先的ニ御採用相成度シ

理由

近來貴省職員御採用方針ハ普通學校卒業生ノミヲ目標トシ鐵道學校卒業生ハ全ク顧ミラレサル所ナリ即チ鐵道精神ノ涵養鐵道教育ノ成果交通道德ノ普及等一トシテ御考試ニ浴ササルノミナラス鐵道ニ關スル専門學科ニ就キ銳意履修シタル時能ニ對シテハ全ク御斟酌ニ與ラサルハ鐵道業界ノ爲ニ人材養成ノ任ニアル鐵道學校ノ等シク遺憾トスル所ナリ從ツテ茲ニ鐵道職員採用試験ハ普通學科ト併合シテ實施スルノ合理的ナルヲ建議シ以テ鐵道職員ノ人材ヲ向上セシメ鐵道學校ノ存立ニ意義アラシメ此種學校ノ使命ニ遺憾ナキヲ期セントスルモノナリ

加フルニ鐵道學校卒業生ハ一般普通學校卒業生ト異リ他ノ官公衙、會社、銀行等ニ就職スルノ途ナク爲ニ一度鐵道機會ヲ失ハシカ期待ノ大ナルニ比例シ忽ニシテ



思想的轉向トナリ延イテハ社會問題ヲ惹起セスト斷言シ得サル事態ヲ想像スルニ難ラサル所ナリ故ニ大正十五年前ノ採用方針ニ遡及シ鐵道學校長ノ推薦ニ依ルモノハ御指定ノ條件ヲ具有スル限り無條件ニテ少クトモ採用人員ノ三分ノ一以上ヲ採用セラレンコトヲ切望スルモノナリ

以上

### 鹿兒島鐵道學校の就職狀況

鹿兒島市上荒田町六(二中通荒田小學正南)

一、本校は青年訓練所認可の特點あり。

一、本校卒業生就職ノ狀況

○卒業生ノ分布圖

内地 臺灣 滿洲 朝鮮 樺太

○内地ハ勿論臺灣、滿洲、朝鮮鐵道等殆ド全版圖ニ涉リ就中臺灣南滿等海外ニ就職スル者最多數ヲ占ム蓋シ鐵道從業員ノ待遇ハ初任當時ヨリ一般ニ優良ナリト雖モ

植民地ハ特ニ待遇昇進共ニ良好ナルニ因ル。

特ニ前年ハ本校ヨリ滿鐵講習所電信科ニ參名、鮮鐵養成所電信科ニ參名合格ノ優勢ヲ示セリ(採用人員各四十名ニ對シ全國ヨリ入所志願者各々千五百名ノ多數ニ達セリ)

○惟フニ鐵道ノ事タル日本内地ニ於テサヘ未ダ一萬哩ニ達セズ將來年々延長セラレベキハ之ヲ近ク本縣下ニ於ケル實狀ニ見ルモ明カナリ特ニ此ノ節ハ内ニ在リテハ建主改從主義ニ依リ積極的ニ延長セラレントスル狀景ヲ示シ又滿洲ニ在リテハ若シ權益恢復セハ鐵道ノ總哩程ハ二千一百哩ニシテ現在滿鐵ノ三倍ニ達セントス而シテ其ノ現業員ノ多數ハ鐵道圈内ヨリ採用昇進セラルルガ故ニ一度足ヲ投ズレバ終身安全向上ノ活動舞臺ナリトス

○就職ニ付テハ本校ニ於テ紹介シ斡旋スルハ勿論ナルガ前述ノ如ク需要ノ範圍全版圖ニ涉リテ頗ル廣汎ナルガ故ニ各自親戚縁故又ハ知人ヲ求メテ自ラ進入スルコト亦最モ早道ナリトス而シテ是亦從來卒業生就職上ノ事實ナリ



### 一、本校訓育ノ方針

○本校ハ生徒ノ訓育ニ最重キヲ置キ職員共同一致シテ先ツ人格ノ完成ヲ期シ浮華放縱ヲ戒メ忠實勤勉ニシテ責任ヲ重ンズル人物ヲ養成センコトヲ期ス

○學校ノ性質上徒ラニ生徒ノ多數ヲ要求セサルガ故ニ師弟間ノ情誼從テ濃カニ訓育ノ目的ヲ達スルニハ最便宜ノ立場ニ在リ

現ニ將來鐵道業ニ從事セシムルヤ否ヤニ拘ハラズ單ニ教養ノ目的ノ下ニ入學セシムル者アリ

○本校教練ノ成績ハ年々査閱官ノ賞讃セララル所ナリ

一、學費 授業料月金四圓五十錢、校友會費同三十錢、下宿料約十六圓内外、其他教科書代年約拾四圓、電信機貳圓貳拾錢、算盤壹圓八十錢、洋服代六圓、靴代五圓(之ハ所有者ハ新調ニ及バズ)

以上

## 第三章 普通部試験問題

### 第一節 普通部最近試験問題

#### ○問題

#### 一、(國語)

一、博文が久しく顯要の位にありながら、克く清廉を嚴守して未だ曾て身後の計を念とせざりしが如きも、國家の重きを以て自ら任じ、盡忠奉公に専らなりし至誠の一端を見るべし。誠に後世國士の龜鑑とするに足れり。

右の文を読んで次の各問に答へよ。

(一) 傍線の部の讀方と解釋

(二) 顯要の位とは例へばどんな位であつたか。



(三) 何が國士の龜鑑となるか。

(四) 「國家の重きを以て自ら任ずる」とはどう云ふ事か。

二、次の語句の讀方及び解釋

イ、其の觀察精粗同じからず、間々其の正鵠を失へるものなきにあらず。

ロ、恩誅

ハ、軫悼

ニ、駛る

ホ、清談

ヘ、角逐

ト、木割

チ、紹述

リ、成竹

三、次の字を知れるだけ列舉せよ。

一、はかる

二、みる

三、おそる

四、をさむ

四、次の□内に一文として讀下す順序を記入せよ。

□力を崇拜すればとて

□必ず何れにか

□力の妄用は

□如何に世界が

□なきを得ず

□道理の許さざる

□躓く所

五、左の假名を漢字に直せ。

今のローマシのハンクワなるガイロ及びワウキユウシヨカンガのアルトコロはモト  
のローマのヘングウにしてそのカミ、タイカ、カウロウのシツピせしあたり、今は  
タダ、クワウハイ セキバクのチマタたるのみ、ローマに遊ぶものをしき深きカン  
キョウをモヨほさしむるはシャバラクエキたるガイロにアラずしてキウリョウのウ  
ヘ、カウヤのアヒダにサミしきカゲをトドめたるハイシザンル非なりとす。

(作文)



立字(文體隨意)

(算 集)

1. A, B, Cノ順ニ並シテ三ツノ驛ガアル。A, Bノ間ハ2.6哩 B, Cノ間ハ2.4哩アル。今甲列車ハA驛カラ乙列車ハC驛カラ同時ニ相向ツテ出發シ途中B驛デ出會ヒ甲列車ハ乙列車ガ驛ニツクヨリモ五分早く(驛ニツイタ。甲乙兩列車ノ速サハ各幾ラカ。
2. 或列車ノ乗客總數ハ832人デ二等乗客ハ三等乗客ノ八ノ一、一等乗客ハ二等乗客ノ七分ノ一アツタ。一、二、三等乗客各幾人デアツタカ。
3. 昭和三年四月三日ニ第一號ヲ發行シタ雜誌ヲ、以後毎週同ジ日曜日ニ發行スレバ第百號ヲ發行スル日ハ何日カ。
4. 省略
5. 歩ク時ノ3歩ト走ル時ノ5歩ト時間ガ等シク、歩ク時ノ7歩ト走ル時ノ4歩トノ距離ノ等シイ人ガ4.8軒ヲ歩クニ1時間カカルトスレバ、2520米ヲ走ルニハ何分カカルカ。

6. 1升ノ價上来ハ42錢、中米ハ39錢、下米ハ36錢デアアル。此三種ヲ混ジテ1升40錢ノ米ヲ造ルニ、上ト中ノ割合ヲ5:4トナルヤウニスルノニハ上、中、下ノ割合ヲドウスレバヨイカ。
7. 或人4月1日ニ金500圓ヲ某銀行ニ預入、5月17日ニ金250圓ヲ引出シ8月31日ニ金180圓ヲ預入レタ、年末ニ元利合計何程ニナルカ、此ノ銀行ノ預金利率ハ日歩1錢1厘デ預入ノ日ハ利子ヲ附ケルガ拂戻シノ日ハ利子ヲ附ケナイ、又決算期ハ8月末ト12月末日デ、元金1圓未滿ニハ利子ヲ附ケナイ、利子1錢未滿ハ切捨ラル。

○解 答

(圖 語)

1.

顯要の位——貴い重い地位

克く清廉を嚴守し——心を潔白に保ち行を正しくすることに注意する。

身後の計——自分の死後家族のものが安樂に暮せるやうに準備すること。



盡忠奉公——國のため君のためあらん限りの力を盡すことに一心になる。

至誠の一端を見るべし——まごころのあらはれた一例と見ることが出来る。

國士の龜鑑——國家のためを思つて はたらく人物のよい手本。

(二) 例へば總理大臣などの樞要の地位

(三) 久しく顯要の地位に在りながら克く清廉を嚴守して身後の計を念とせざりしことをいふ。

(四) 國家の重任を荷つてゐることを覺悟して自重すること。

二、

イ、其の觀察精粗相同じからず、問々其の正鵠を失へるものなきにあらず其の見方が或は非常に精密であり、或は粗雑であつて相共に同じではなく正當を見失つたことは時々ないではない。

ロ、恩誅||有り難いしのびの詞。

ハ、軫悼||天子のなげきいたまれること。

ニ、駛る||早く走る。

ホ、清談||俗事をはなれた風流の話。

ヘ、角逐||競争驅逐する事。

ト、木割||建物各部に於ける用材の大きさの割合。

チ、紹述||從來の仕來りにより従ふこと。

リ、成竹||前以つて心の中に立てる計畫。

三、

一、計る 測る 謀る 圖る 量る 料る 度る 權る 稱る 詢る

二、見る 視る 觀る 診る 看る 瞻る 瞰る 覽る 試る

三、恐る 懼る 惧る 畏る

四、收む 納む 藏む 修む 治む

四、

2 力を崇拜すればとて



- 5 必ず何れにか
- 4 力の妄用は
- 1 如何に世界が
- 7 なきを得ず
- 3 道理の許さざる
- 6 躓く所

五、

羅馬市 繁華街路 王宮諸官衙 在處 元 羅馬 邊隅 上 大厦 高樓 櫛比  
 唯荒廢 寂寞 巷 羅馬 感興 催 車馬絡驛 街路 非 丘陵 上 郊野 間  
 淋 影留 廢址殘壘

(算術)

- 1. 3.6(哩) : 2.4(哩) = 2.4(哩) : x(哩)  

$$x = \frac{2.4 \times 2.4}{3.6} = 1.6$$
 甲が2.4哩走ル間 = 乙ノ走ル哩數

3.6哩 - 1.6哩 = 2哩……5分間ノ乙ノ速力。 $2\text{哩} \times \frac{60}{5} = 24\text{哩}$  1時間ノ乙ノ速力  
 $24\text{哩} \times \frac{26}{2.4} = 36\text{哩}$ ……1時間ノ甲ノ速力

答 甲36哩 乙25哩

- 2. 昭和三年四月四日以後ノ日數ハ、7日 × (100 - 1) = 693日  
 昭和五年四月三日ヲデノ日數ハ、365日 × 2 = 735日  
 730日 - 693日 = 37日 丸二年ニ足ラザル日數  
 37日 - 31日 = 6日……昭和五年三月二日ヲデニ足ラザル日數  
 2日(三月分) + 28日(二月分) - 6日 = 24日(二月)693日目ノ日

答 昭和五年二月二十四日

4. 省略

- 5.  $\left. \begin{array}{l} 5\text{步} : 3\text{步} \\ 7\text{步} : 4\text{步} \\ 4.8\text{軒} : 2520\text{米} \end{array} \right\} 1\text{時間} : x\text{時間}$



$$x = \frac{3 \times 4 \times 2520 \times 1}{5 \times 7 \times 4.8} = \frac{9}{50} \dots \text{所要時間}$$

$$60 \text{分} \times \frac{9}{50} = 10.8 \text{分}$$

答 10.8分

6.

42錢	2錢過剩	5
40錢	39錢	1錢不足
36錢	4錢不足	x

$$x = \frac{2 \times 5 - 1 \times 4}{4} = \frac{3}{2}$$

$$5:4:\frac{3}{2} = 10:8:3 \text{上中下ノ連比.}$$

答 10:8:3

7. 1.1錢  $\times \frac{500}{100} \times (30 + 16) = 2$ 圓53錢……五月十六日迄ノ利子

$$1.1 \times \frac{500 - 250}{100} \times (31 - 16 + 30) = 1$$
圓23錢7厘5毛六月末日迄ノ利子

2圓53錢 + 1圓23錢7厘5毛 = 3圓76錢7厘5毛……上半期利子合計

500圓 - 250圓 + 3圓76錢 = 253圓76錢……七月以後ノ現金

$$1.1 \text{錢} \times \frac{253}{1000} \times (31 + 30) - 1 \text{圓}69 \text{錢} = 763 \dots \dots \text{八月卅日迄ノ利子}$$

$$1.1 \text{錢} \times \frac{253 \times 180}{100} \times (11 + 30 + 31 + 30 + 31) = 5$$
圓85錢849年末迄ノ利子

1圓69錢763 + 5圓85錢849 = 7圓55錢……下半年利子合計

253圓76錢 + 180圓 + 7圓55錢 = 441圓31錢……元利合計

答 441圓31錢

### 第二節 電信科最近試験問題

#### ○問題

(國語)

一、左の文を解釋せよ。



- イ、關山春深きところ、心なき身も感などか起らざらん。  
 ロ、遠からんものは音にも聞け、近からんものは目にも見よ。  
 ハ、父は父たらずとも、子は子たらざるべからず。  
 ニ、幼時遭遇せし艱難辛苦は、つとに其の剛毅不屈の氣象を助成せり。  
 ホ、浮足立つたる平家勢、馬の足を立てかねて、逃行く様を見苦しき、義朝之を見て、「我が子ながらも義平はよく驅けたるものかな、あ驅けたり。」とぞほめたりける。

二、左の文中片假名の部分を漢字に改めよ。

法律をジユンボウすることは國民の重大なるギムであつて、法律の命ずる所は道德も亦之を命じ、法律の禁ずる所は道德も亦之を禁ずるのはいふまでもないことである。しかし法律は唯コクリミンブクを、ゾウシンし、社會公共のアンネイチツジョをホズするがために、國家がケンリヨクを以て定めたものであつて道德に比べると其のハンキは遙かに狭い。

三、左の語の右側に讀假名を附け下に意義を書け。

綱紀 不覺 破竹の勢 長汀曲浦 現地交渉 辯論甚だ力む。

(作文)

題 私の職務

(算術)

1. 次ノ式ヲ計算セヨ

$$3.4 + \left( \frac{3}{98} - \frac{1}{44} \right) \times \left( \frac{3}{98} + \frac{1}{44} \right)$$

2. 102.136.170 = 夫々成ルベク小ナル數ヲ乘ジテ其ノ積ガ相等シクナルヤウニセヨ

3. 長サノ等シイ甲乙ノ電車ガアル。反對ノ方向ニスレ違フトキハ兩車ノ先頭ガ相接シテカラ後尾ガ離レルマデニ2秒カカル。又同ジ方向ニ並ソデ走ルトキハ甲ガ乙ヲ追ヒ越ヌニ追ヒ付イテカラ離レルマデニ12秒カカルガ若シ甲ノ速サガ毎秒2m増ストキハ此ノ時間ハ8秒トナルトイフ。各車ノ長サト其ノ速サヲ求メヨ。

4. 直圓壘ノ體積ハ其ノ高サト底ノ半徑ノ平方トニ比例スル。今底ノ半徑ガ7mデ高



サガ15mデアル直圓錐ノ體積が2310立方米デアルナラバ底ノ半徑ガ3mデ高サガ14m  
デアルモノノ體積ハ幾ラカ。

5. 或人1475圓ヲ甲乙丙ノ三口ニ分チ甲ハ年利8分、乙ハ年利6分、丙ハ年利5分デ貸  
附ケタトコロ各口ノ一年分ノ利息ガ相等シクナツタトイフ。各口ノ元金ヲ求メヨ。

○解 答

(國 語)

一、イ、春も深く緑の色も一入と濃い關山に来てみれば如何に無趣味、無風流の我が  
身にも坐ろに深い感懐が起らずには措かぬ。

ロ、遠方の方は音だけでも聞け、近い處にゐる人は音の上に更に目にも見よ。

ハ、父はよしんば父としての義務を果さずとも子は子としての道を履行しなければ  
ならぬ。

ニ、年齢の幼なかつた頃、出會つた色々な難儀や苦しみは、早くから當人の物事に  
對して心が強くおちひるまず、飽迄へたばらず成し遂げると云つた堅い志操の成

長を助けた事になつた。

ホ、逃げ氣になつて平家の軍勢は馬にも碌に正しくは乗り得ないで或は、姿勢を崩  
し或は馬諸共轉げたりなどしいく逃げて行くのは正視に堪えない程である。義  
朝は之の醜態を見て「我が子を、賞揚する様ではあるが義平はよく敵を追ひまは  
したものであるわい、全くよく追ひまはした事よ」と云つて十分にほめた事とし  
た。

二、遵奉 義務 國利民福 増進 安寧秩序 保持 權力 範圍

三、綱紀 物事のおほもと。國家のまつりごと。

不覺 不注意。十分に覺悟の出來てゐなかつた事。

破竹の勢 丁度竹を破る時、勢ひよく破れる様な鋭い勢を云ふ。

長汀曲浦 (1) 長く併もツネ／＼と曲り、くねつてズット入り込んでゐる水打際の  
こと。(2) 長い水打際と曲つた入江。

現地交渉 現在解決しなければならぬ事件の起つた場所で其の事に就いて先方と



掛合ふ事。

辯論甚だ力む。一生懸命に自分の意見が先方へ徹底する様に辯じ論ずる事。

(算術)

1. 原式 =  $\frac{34}{10} \div \left(\frac{3}{93}\right) \times \left(\frac{1}{44}\right) = \frac{17}{5} \div \frac{132-28}{98 \times 44} \times \frac{132+98}{98 \times 44}$   
 $= \frac{17}{5} \times \frac{98 \times 44}{34} \times \frac{230}{98 \times 44} = 23$

答 23

2.  $102 = 2 \times 3 + 17 \dots$ 素因数分解  $136 = 2^3 \times 17 \dots$ 素因数分解  
 $170 = 2 \times 5 \times 17 \dots$ 素因数分解  $\therefore L.C.M = 2^3 \times 3 \times 5 \times 17$

$\therefore$  求ムル諸數ハ  $(2^3 \times 3 \times 5 \times 17) \div (2 \times 3 \times 17) = 20 \dots$   $102 =$  乘ズベキ數

$(2^3 \times 3 \times 5 \times 17) \div (2^3 \times 17) = 15 \dots$   $136 =$  乘ズベキ數

$(2^3 \times 3 \times 5 \times 17) \div (2 \times 5 \times 17) = 12 \dots$   $170 =$  乘ズベキ數

答 20, 15, 12ヲ夫々乘ズレバヨク

3.  $1 \div 2 = \frac{1}{2} \dots$ 兩電車ノ速サノ和  $1 \div 12 = \frac{1}{12} \dots$ 兩電車ノ速サノ差

$1 \div 8 = \frac{1}{8} \dots$ 甲電車ガ毎秒2米宛速サヲ増シタ時ノ速サノ差

$\frac{1}{8} - \frac{1}{12} = \frac{1}{24} \dots$ 2米ニ當ル  $\therefore 2 \text{米} \div \frac{1}{24} = 48 \text{米} \dots$ 兩電車ノ長サノ和

$42 \text{米} \div 2 = 21 \text{米} \dots$ 兩電車ノ長サ  $48 \text{米} \div 2 = 24 \text{米} \dots$ 兩電車ノ速サノ和

$48 \text{米} \div 12 = 4 \text{米} \dots$ 兩電車ノ速サノ差

$(24 \text{米} + 4 \text{米}) \div 2 = 14 \text{米} \dots$ 甲電車毎秒ノ速サ

$(24 \text{米} - 4 \text{米}) \div 2 = 10 \text{米} \dots$ 乙電車毎秒ノ速サ

答	}	各電車ノ速サ	24米
		甲電車ノ速サ	14米1秒
		乙電車ノ速サ	10米1秒

4. 直圓壙ノ體積 = 半徑<sup>2</sup> × π × 高サ

2310立方米 : x立方米 = (7<sup>2</sup> × 15) : (3<sup>2</sup> × 14)

$x = \frac{2310 \times 3^2 \times 14}{7^2 \times 15} = 396 \dots$ 立方米

答 396立方



5. 相等シキ利息ヲトスレバ

$$\text{甲ノ元金} = \frac{1}{0.08} \quad \text{乙ノ元金} = \frac{1}{0.06} \quad \text{丙ノ元金} = \frac{1}{0.05}$$

$$\therefore \text{各々ノ元金ノ比} = \frac{1}{0.08} : \frac{1}{0.06} : \frac{1}{0.05} = 15 : 20 : 24$$

$$1475 \text{圓} \times \frac{15}{15+20+24} = 375 \text{圓} \quad \text{甲}$$

$$1475 \text{圓} \times \frac{20}{15+20+24} = 500 \text{圓} \quad \text{乙}$$

$$1475 \text{圓} \times \frac{24}{15+20+24} = 600 \text{圓} \quad \text{丙}$$

甲	275圓
乙	500圓
丙	600圓

第三節 機關手見習試験問題

一 問題

(技術)

一、空氣制動機の各部には夫々調整壓力が定められて居る、夫れを列擧せよ、尙鈞合

空氣溜の設けらるゝ理由を説明せよ。

二、次の二つの運轉方法について利害得失を説明せよ。

イ、加減瓣を満開し、「カットオフ」を早くする。

ロ、加減瓣は満開せず、「カットオフ」を遅くする。

三、次の語について簡單に説明せよ。

イ、ブライミング    ロ、ドラムミング    ハ、ワイヤードロイニング

ニ、リングカットオフとボデーカットオフ    ホ、復元力。

(規程)

一、一閉塞區間に二以上の列車を同時に運轉し得る場合を問ふ。

二、途中に於て後發列車が先發列車に接近したる場合機關手は如何にすべきや。

三、天候の状態に依り百米の距離より信號の現示を認識し難き場合場内信號機が停止信號を現示するときは進入列車に對し如何なる手配を爲すべきや。

四、閉塞區間に於ける閉塞方式を問ふ。



五、左記のものを説明せよ。

- 1、或る區間に於ける標準上り又は下り勾配。2、傳令者

(算術)

1. 次ノ分數ヲ簡單ニセヨ。

$$\frac{\frac{5}{8} \div 1 \frac{5}{15} + 2 \frac{5}{12} \times 3 \frac{1}{7} - 5 \frac{1}{9}}{\left(9 \frac{4}{5} - 2 \frac{9}{12} - 2 \frac{1}{3}\right) \div \left(1 \frac{1}{2} + \frac{1}{3}\right)} =$$

2. C53形、C51形、C10形機關車アリ其ノ牽引力ノ比ハC53形ト C51形トハ15ト12トノ如ク、又C51C形ト15形ハ9ト6トノ比デアル然ラバ C53形機關車ガ 35瓩ノ四輛ボギー客車現車15輛ヲ牽引シ得ルモノトセバ C10形機關車ハ21瓩ノ四輛ボギー客車機輛内一輛ハ30瓩ノ四輪ボギー客車トス)ヲ牽引シ得ルカ。

3. 某機關車ニ於ケル檢査係詰所ト枝工長詰所トヲ比較スルニ其ノ周圍ノ長サ相等シク檢査係詰所ハ長方形ヲナシ其ノ面積ハ60平方米枝工長詰所ハ正方形ヲナシ其ノ面

積檢査係詰所ヨリ4平方米多シト云フ、然ラバ檢査掛詰所ノ間口及奥行ハ幾米ナルカ。

4. 某給水所ニ於テ豫メ「タンク」ニ滿水シ置キタルニ上リ列車ノ機關車ニ給水シタルトキ全量ノ $\frac{2}{16}$ ヲ減ジ次ニ下リ列車ノ機關車ニ給水シタルニ更ニ殘リノ $\frac{5}{8}$ ヲ減ジタルヲ以テ「タンク」ノ水量ハ4200立トナリシト云フ。然ラバ上リ及下リ列車ノ給水量ハ各如何。

5. 某區間ノ $\frac{20}{1000}$ 上リ勾配線ニ於テ C51形機關車ノ牽引定數ハ C53形機關車ノ牽引定數ノ $\frac{2}{3}$ ニシテ兩機關車ノ定數ノ和ハ40輛ナリト云フ各牽引定數如何。

解答

(技術)

- 1、給氣瓣 五班(一平方糎へいほうみんに付以下同じ) 2、減壓瓣 三班
- 3、分配瓣附屬安全瓣 四・五班 4、蒸氣機關車調壓器高壓頭 八班



5、同低壓頭 六・五疋

以上の場合の公差は正負〇に疋である。鈎合空氣溜は鈎合ピストンの動作に依つて列車の長短に關せず、容易に所要の制動管減壓を行はしめるためである。

二、イの利益（ロに比較して）

加減弁を満開しカットオフを早くして速度を調節することは運轉法の原則である。是れ筒氣に進入せる蒸氣を十分に膨脹せしめる故蒸氣の効率を増進し燃料の經濟となるからである。

ロの利益（ハの不利益）

加減弁は満開せず、カットオフを遅くして運轉するのに、特種な場合又は治療的運轉であるが、次の様な利益はある。

- 1、タランタビンに來る力が比較的平等であるから、機關車の動搖が少なく、それで特種な列車を運轉するとき又は各部摩耗せるものを運轉するに適する。
- 2、タランタビン發熱の心配が少なく。又軸箱クサビの摩耗量も少なり。

3、發車の際は引出が容易である。

4、動輪一廻轉中の牽引力の差が少ないから空轉の虞れが少ない。

5、ピストン辨詰輪、ピストン棒詰箱、過熱管取付、蒸氣管取付等から漏洩するものでは、其漏洩量が少ない。

6、プライミングを起すことが少ない。

三、イ、プライミングとは氣水共發と稱し、蒸氣中に罐水が混じて氣筒に進入する狀況であつて、罐水が多いとき、罐水が泡立つときに起る。氣筒内に進入した水は油氣を洗ひ去り、ウォーターハンマーを起したり、水がピストンで壓迫する等の危険がある。

ロ、機關車の火層が薄く盛んに燃焼してゐるとき、時として遠くで太鼓を連打するに似た音響を發し罐が震動することがある。之をドラミングと云ふ。之は石炭より發生したる瓦斯殊に炭化水素中のメタンエチレン、アセチリン及水素瓦斯の如きが、空氣と或割合に混合し、爆發して燃焼する現象である。之は控の折損、煙



管の漏洩等の害がある、之を防ぐには、風戸を閉塞し、焚口戸を開く。

ハ、ワイヤードロッシングとは蒸気が氣筒に進入すると蒸氣口の開きが狭きため十分に進入せないので、ピストン速度ハ惰力のため早いので、蒸氣の壓力が減少して蒸氣壓力を十分利用することが出来ないことを云ふ。

ニ、リングカットオフとは、ピストン瓣の外周にある、リングに依つて蒸氣口を締切ることである。單式給氣の様にリングの大きいものでは此法に依る。之は締切が確然とする。ポデーカットオフとはリングに依らず、瓣體自身に依つて締切をなすことである。複式給氣の様にリングが小さく且つ張も小なるものに用ゆ之は締切が判然としない缺點があり、瓣室ブシュが摩耗したときはリングカットオフとなる。

ホ、復元力とは、臺車車輪が曲線に於て横動轉向したとき、之を元に戻さんとする力のことである。此力に依つて、直線に移れば直ちに臺車々輪は直線に戻る。又直線に於ても臺車車輪の蛇頭動を少くする。又曲線に於て、復元力の反動に依つ

て主臺枠を曲線の内方に引入れ、従つて動輪を内方に引寄せて動輪外側輪線と外側軌條内頭との摩耗を少くし、動輪脱線を防止する。

(規程)

一、一閉塞區間に二以上の列車を同時に運轉し得る場合は左の各號の一に該當するとき之を認められる。

- 1、自動の閉塞信號機の停止信號現示の場合に於て閉塞區間に進入するとき。
  - 2、隔時法に依り運轉するとき。
  - 3、故障列車の在る閉塞區間は於て救援列車を運轉するとき。
  - 4、線路不通となりたる閉塞區間に於て工事列車を運轉するとき。
  - 5、閉塞區間に於て後部補助機關車を列車より分離したるとき。
  - 6、列車の入換若は誘導又は分割運轉を爲すとき。
- 二、途中に於て後發列車が先發列車に接近したるときは左の取扱に依る。
- 1、兩列車の機關手は短急氣笛數聲の合圖を爲し後發列車は停止す。



2、此の場合後發列車は自動閉塞式施行間に於ては一分間、隔時法施行區間に於ては五十分を經過したる後進行すべし。

三、天候の状態に依り場内信號機の信號現示が百米の距離より認識し難きとき之れに停止信號を現止するときは進入列車に對し次の如き手配を爲すを要する。  
列車進入の過當時刻前左の箇所に信條用雷管を裝置する。

1、遠方信號機又は之に相當する信號機の設置箇所但し遠距離に設あるときは主體の信號機の外方四百米以上の箇所。

2、遠方信條機の設なきものに在りては主體の信號機の外方二百米以上の箇所。

四、閉塞區間に於ける閉塞方式は次の通りである。

複線運轉を爲す場合 閉塞器式、自動閉塞式、單線運轉を爲す場合。

通票閉塞器式、通票式、票券式と閉塞器式若は通信閉塞式の併用。

自動閉塞式 以上所定方式の外指導法の定めありて單線運轉を爲す區間に於て所定方式施行不能の場合に備へる。

五、1、或區間に於ける標準上り又は下り勾配とは一籽を距つる二點を結付くる直線の勾配中列車の運轉方向に對し最急の上りとなるものを標準上り勾配と謂ひ同上最急の下りとなるものを標準下り勾配と謂ふ。

2、傳令者は如何なるものか規程中の條文より類推すれば閉塞法の圈外に於て列車運轉の保安上必要に依り運轉指導又は監守者の旨を受けて機關車に乗込閉塞法の補助を爲さしむるため規定せられたるものである運轉取扱心得中之れが關係條文を擧ぐれば

イ、途中に於て後部補助機關車を列車より分離し退行せしむる取扱を爲す閉塞區間に於て鎖錠用鍵が其用を爲さざる場合補助機關車が完全に退行し終りたることを確認するため傳令者を補助機關車に乗込しめて出發せしむること。

ロ、途中に於て列車故障を生じ救援列車を運轉する場合に於て留置車輛又は故障列車が閉塞區間を中斷せざるときは所定式に依らずして兩方面最寄驛長の打合せに依り傳令者を救援列車に乗込しめ傳令者が歸着したることを確認する迄は



該區間に他の列車を進入せしめざることを。

以上に就いて觀れば閉塞法を補ふものと解し得る。

(算術)

1.

$$\begin{aligned} & \frac{3}{8} \frac{5}{12} \div 1 \frac{5}{12} + 2 \frac{5}{12} \times 3 \frac{1}{7} - 5 \frac{1}{9} & \frac{29}{8} \div \frac{17}{12} + \frac{29}{12} \times \frac{22}{7} - \frac{46}{9} \\ & \left( \frac{9}{5} - 2 \frac{9}{12} - 2 \frac{1}{3} \right) \div \left( 1 \frac{1}{2} + \frac{1}{3} \right) & = \left( \frac{49}{5} - \frac{33}{12} - \frac{7}{3} \right) \div \left( \frac{3}{2} + \frac{1}{3} \right) \\ & \frac{29}{8} \times \frac{12}{17} + \frac{29}{12} \times \frac{22}{7} - \frac{46}{9} & = \frac{87}{34} + \frac{319}{42} - \frac{46}{9} \\ & = \left( \frac{49}{5} - \frac{11}{4} - \frac{7}{3} \right) \div \left( \frac{9}{6} + \frac{2}{6} \right) & = \frac{588 - 165 - 140}{60} \times \frac{6}{11} \\ & \frac{5481 + 16269 - 10948}{2142} = \frac{10802}{2142} & \\ & = \frac{283}{60} \times \frac{6}{11} = \frac{283}{110} & \\ & \frac{5401}{1071} \times \frac{110}{283} = \frac{594110}{303093} = 1 \frac{291017}{303093} & \quad \text{答} \quad 1 \frac{291017}{303093} \end{aligned}$$

2. 各機關車ノ牽引力ノ連比ヲ求ムルベシ

C. 53 C. 51 C. 10

15 : 12

9 : 26  
45 : 36 : 24

∴ C10形機關車ノ牽引力數ヲ求ムルベシ

$$43 : 24 = 35 \text{ 吨} \times 15 : x \text{ 吨} \quad x = \frac{35 \times 15 \times 24}{45} = 280$$

380 吨 - 30 吨 = 250 吨 …… 25 吨四輪ボギム客車 = ヨル 吨數

250 吨 ÷ 25 吨 = 10 …… 25 吨四輪ボギム客車ノ輪數

3. 60 平方米 + 4 平方米 = 64 平方米 …… 技工長詰所ノ面積

√68 米 = 8 米 …… 技工長詰所ノ一邊

8 米 × 4 = 32 米 …… 技工長詰所ノ周即チ検査掛詰所ノ周

32 米 ÷ 2 = 16 米 …… 検査掛詰所ノ間口ト奥行トノ和

故ニ面積 60 平方米ヲ二數ノ積ニ分離シ、其ノ和ガ 16 米トナル如キモノヲ選ベル

$$60 = 2 \times 30 = 3 \times 20 = 4 \times 15 = 5 \times 12 = 6 \times 10$$



∴ 間口6米奥行10米、或ハ間口10米奥行6米

4. タンクノ全量ヲ1トスレバ

$$1 - \frac{2}{16} = \frac{14}{16} \dots\dots \text{上リ列車} = \text{給水シタル残量}$$

$$\frac{14}{16} \times \frac{5}{8} = \frac{35}{64} \dots\dots \text{下リ列車} = \text{給水シタル量}$$

$$\frac{14}{16} - \frac{35}{64} = \frac{21}{64} \dots\dots \text{上リ列車} = \text{給水シタル残量}$$

$$4200 \text{立} = \frac{21}{64} = 12800 \text{立} \dots\dots \text{タンクノ全量}$$

$$12800 \text{立} \times \frac{2}{10} = 1600 \text{立} \dots\dots \text{上リ列車} = \text{給水シタル量}$$

$$(12800 \text{立} - 1600) \times \frac{5}{8} = 7000 \text{立} \dots\dots \text{下リ列車} = \text{給水シタル量}$$

答 上リ列車給水量1600立 下リ列車給水量7000立

5. 答 C. 53形機關車 24輛  
C. 51形機關車 10輛

(終り)

昭和八年拾壹月五日 印刷  
昭和八年拾壹月拾九日 發行

鐵道員になるには

定價 金四十錢

著者

職業指導研究會

發行者

東京市四谷區新宿町一丁目八十八番地  
北村常三

不許  
複製

印刷者

東京市京橋區西八丁堀一丁目四番地  
齋藤廣吉

發行所

東京市四谷區新宿町一の八八  
振替口座東京二七一三〇番

三友社

電話四谷二二二二番







＝書考參驗受檢專及檢小＝

刊新最	版五	版五	版五	版重	版重
野間瑞夫著 小檢受檢用 問題解答式 <b>教育史と論理學</b>	宮野輔著 專科正教員 檢定受檢用 附錄試驗によく出る教育上の術語の解説 <b>教育大意問題精解</b>	宮野輔著 專正・保母 檢定受檢用 <b>教育科精說</b> (訂正増補版)	濱野宮之助著 小檢受檢用 專檢受檢用 <b>修身科精說</b> (訂正増補版)	濱野宮之助著 中學校師範自習用 小學教員檢定用 <b>法制經濟精說</b>	谷島源十郎著 受檢參考 問題中心 <b>農業科精說</b>
送定 四六判洋裝 料價 三〇〇頁 ・一五〇	送定 四六判洋裝 料價 二三八頁 ・一五〇	送定 四六判洋裝 料價 四九八頁 ・一七〇	送定 四六判洋裝 料價 四八二頁 ・一八〇	送定 四六判洋裝 料價 四二〇頁 ・一六〇	送定 四六判洋裝 料價 七六六頁 ・一五〇
●本書は教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。

京東座口替振 行發社友三 區谷四市京東 番〇三一七二 八八ノ一宿新

＝書考參驗受及習自＝

版九十	版重	版重	版重	版重	版重
中村ヨシ先生校閱 小學校裁縫專科正教員受檢參考 附錄——小學校裁縫檢定問題集—— <b>教育大意と裁縫教授法</b>	高橋鐵也著 小學教員・專檢・産婆・看護婦 <b>女子獨學受檢者の爲に</b>	佐々木幹夫著 小學教員受檢準備の指導	受檢法會編輯部編 最新普通文官試驗模範答案集	長倉博編 師範學校入學準備書	荒井忠市郎編 ミツキー！ マウス 音樂家のゴリラの巻 飛行家のゴリラの巻 怪物の巻
送定 四六判洋裝 料價 二九五頁 ・一五〇	送定 四六判洋裝 料價 三八四頁 ・二〇〇	送定 四六判洋裝 料價 五五二頁 ・一八〇	送定 新六判洋裝 料價 六六〇頁 ・二〇〇	送定 菊判假綴 料價 四三四頁 ・一五〇	送定 各冊 料價 四六判美本 ・三〇四
●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。	●本書は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。その中心は、教育史の論理學的考察を中心として、教育史の發展を論じている。

京東座口替振 行發社友三 區谷四市京東 番〇三一七二 八八ノ一宿新



編會究研導指業職

書叢導指業職

1	飛行家になるには	どんな方法でどうすれば飛行家になれるか。つ少年航空兵の入隊手續及試験問題も掲げ、陸軍軍人に志願する方法と其の手續及び昇給する道。士官學校入學試験問題等。
2	陸軍軍人になるには	海軍軍人に志願する方法と其の手續及昇給と收入並に兵學校入學試験問題集。
3	海軍軍人になるには	醫師になる迄の順次と其の收入及び費用、醫學校に入學する方法等で分り易い醫師になる手引書である。
4	醫師になるには	商科醫になる迄の順次と其の收入及費用、科醫學校に入學する方法等。
5	齒科醫になるには	看護婦になる迄の道を良く判り安く其の手續と收入及び獨學者の取るべき方法も説いてある。
6	看護婦になるには	新聞記者と云ふものゝ使命と其の記者になる迄の順次方法が判り安く叙述されてある。
7	新聞記者になるには	小學校教員になる獨學受驗方法及其の順次手續方法が判り安く叙述してある。
8	小學校教員になるには	西洋畫家になるものゝ使命と畫の畫き方法及畫家の一般知識を説明してある。
9	洋畫家になるには	理髮師になる順次と方法及手續及試験問題と其の模範解答が添へてある。
10	理髮師になるには	

内容 本書は各々其の専門家の著述である。本書は其の内容叙述が親切丁寧である。本書によつて希望職業の羅針盤となる。

以下續刊中 各册 定價金四十錢 送料金 四錢

東京市四谷區 三友社發行 振替口座東京 一七三〇番

編會究研導指業職

書叢導指業職

11	美容師になるには	風采は其人格のあらはれである美容師になる方法及び收入試験問題。美容學校入學手續及法規等實に手にとるやうに書いてある。
12	自動車運轉手になるには	自動車は現代文明の兒である。これを運用するにはどうか。此れこそ運轉手である。それにはどうすればよいか。先づ本書を讀め。
13	巡査になるには	あの徽章・あの剣をつるに至るまでの準備方法。試験問題等實に徹に入る説明書なり。
14	外交官になるには	西に、東に國威を輝かし、又その會社・商店の名をあらはす前哨こそ外交であらねばならぬ。この名譽ある外交官になるには……。
15	文士になるには	文學は、文章による具體的の人間活動の再現である。藝術・現代文學(小説)文學者。迎べき道の四章に互り、其概念が具へてある。
16	遞信官吏になるには	遞信講習所の試験を及第すれば男女を問はず比較的完全に就職出来るが、これになる方法を一部始終くわしく書いてある。
17	産婆になるには	偉人賢子と判りあげて名譽ある産婆になる。産婆の道は、其の道、其の手續、收入及び獨學の方法等の説明してある。
18	音樂家になるには	音樂にはいろいろ種類があるが本書には重んずべき西洋樂器につき叙述し音樂家として迎へべき道を詳細に叙述してある。
19	營林省官吏になるには	營林省官吏になるその手續・試験期日受驗場・採用試験問題集・採用後の待遇に至るまでこれ程くわしい本は他に無い。
20	鐵道員になるには	汽笛一聲機太から臺灣まで。いや日本から英米までもつないでくれる彼の鐵道員への登龍法を細部に互り説明書してある。

内容 本書は各々其の専門家の著述である。本書は其の内容叙述が親切丁寧である。本書によつて希望職業の羅針盤となる。

以下續刊中 各册 定價金四十錢 送料金 四錢

東京市四谷區 三友社發行 振替口座東京 一七三〇番



■ ■ ■ 英 學 生 諸 君 の ■ ■ ■

荒井忠市郎 編



# ミッキー・マウス



(イージイ・イングリッシュ)

## 音楽家の巻

大きな楽器入れに小さな笛が入つて  
あまたの楽器入れは雨が降つて来ました。  
た。そして中からは雨よけになりまし  
た。そして中からは雨よけになりまし

## ベビーゴルフの巻

吾等のミッキー君は今彼の友達  
のミックス・ドッグ等々を召集しま  
した。ミックス君は一等を始めるま  
のでせうか。興味一〇〇パーセント

## 飛行家の巻

叔母さんとミニ・熊とミックス君は  
今飛行機で田舎へ向つてゐます。恐  
れのミックス君が操縦士となりまし  
た。やがて地上が天にありませう。

## 開拓者の巻

本巻はパイニア・デイスとトゥラ  
フイック・トラアルと二巻より成り、  
寫真版で、とても面白く、又非常に  
気持ちのよい本です。

## 怪物ゴリラの巻

本巻もゴリラミストリーとパリスデ  
イバーテイの二巻より成り寫真版で  
す。そしてミニをすくうミックス君  
大なるゴリラ實に面白く書けてる。

トッキーで皆様と御馴染みの我等のミッキー・マウス君を容易な  
る英語で書いたものです。フレックスユなイングリッシュ・グラ  
マティアル。コロクイアル・スタイルは皆様の召すこと  
受合です。英語を面白く學ぶ爲には、ミッキー・マウスを是非一  
讀せられん事を……。

(各册)

四 定 價 六 金 三 十 錢  
送 料 金 四 錢



終

